京城日報

五月十一日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金二錢五厘 ▲一ヶ月金[illegible] ▲三ヶ月分[illegible]
廣告料金 ▲五號活字一行[illegible]
發行兼編輯人 奧田直　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號[illegible] 振替口座京城三〇〇番

○芬蘭帝政か
獨逸メツクレンブルヒ、シユヴエリン公王位に即かん

ストックホルム來電＝芬蘭にて帝政宣布さる可きはメツクレンブルヒ、シユヴエリン公王位に即く可し疑ひ無きもの、如し而して獨逸皇太子妃の兄君に當る尚過激派の無法なる行動に對する反動は民主々義者及び共和主義者に對し不利なる形勢を誘致するに至れり(倫敦電報)

○羅皇后講和不承認

アムステルダム來電＝ブカレストよりの報に曰く「羅馬尼皇后マリーは羅獨講和條約調印の不承認を聲明し且曰く獨逸と講和するに於ては寧ろ退位せん」と(柔港電報)

○首相難詰問題調査
アスキス氏の動議提出通告

アスキス氏は下院に一の動議提出の通告を爲したるが此動議は政府側がモーリス少將の所言に關し政府側より二名の審理官を出さんとせるに對し下院より委員を任命し是れに調査せしむ可しとするものにて換言すれば政府彈劾投票に等しき結果を有するものなり右動議は九日討議されたり(倫敦電報)

○英國議會氣分緩和
五票の差にて政府方勝利を得ん

議會の控室は八日幾分鎭靜の狀に復れり危機迫れるの觀測に就ては九日の討議にて多分五票の差にて政府方勝利を制す可く此の一般的期待の爲め氣分は大いに緩和されたり尚愛蘭國民黨員は討議に加はらざる旨を決議す可し(倫敦電報)

○モ將軍と軍法會議

デーリーニュース紙は報道して曰くモーリス少將は告發取調の結果軍法會議に附せらる可し(倫敦電報)

○國債募集と當局談
千三百萬圓は朝鮮運輸交通事業費

五千萬圓國債募集に關し大藏當局の談に據れば『本年度の財政計畫に於ける公債は三種に區別するを得可く第一は臨時軍事公債三千萬圓にして之は戰爭の進行に伴ひ臨時發行す可きものにて今回募集の期に達し居らず第二は三億圓の臨時國庫證券にして之は對外貿易決濟金融市場の調節を主たる目的とし今日一時に募集す可きものに非ず第三は五千萬圓の事業公債にして內約二千七百萬圓は鐵道の建設改良費、千萬圓は電話架設費、約

千三百萬圓は朝鮮に於ける運輸交通事業費に充當さるゝものにして生產の進步發達に資するものなり以上の內政府は今回第三の事業公債五千萬圓を發行するものにして此際國民は戰後經濟戰爭に對する用意を爲すの意を以て奮つて應募せんことを望む本公債利廻りは六分二厘餘なれば此點より見るも恰好の放資物たる可し(東京特電)

●朝鮮戰時利得稅令
全文十四條＝十三日公布さるべし

朝鮮に於て適用せらる可き戰時利得稅令十三日制令第六號を以て總督府官報を以て公布せらる可きが本令は全文十四條より成り附則として適用開始の時期並に是が適用廢止時期を定められたるものなり內容は槪に內地に於て公布せられたるものと略同樣にして唯土地の狀況其の他を斟酌して若干の修正を加へたるものなりと

○良子女王殿下
御敎育掛任命

東宮妃殿下に御內定遊ばされし良子女王殿下御學問所出仕の御敎育掛三名は十日左の如く仰付けられたり(東京特電)

學習院敎授　依田豐
同　小野鐵之助
同　鈴木元美
良子女王殿下御敎授囑託被仰付

○兩博士渡英

櫻井、田中舘兩博士は萬國々際學術大會に出席の爲め六月三日出發渡英すべし(東京特電)

○國分司法部長官

司法部長官は十一日朝著釜直ちに東萊溫泉を視察し同夜十一時半發列車にて歸任すべし(釜山特電)

○綱島稅關長通過

綱島稅關長は十一日午前十時三十分發列車にて北行す(釜山特電)

●總監議員團招宴

前報の如く山縣政務總監は十日午後六時より入京中の衆議院議員滿鮮視察團一行を主賓とし渡邊高等法院長、宇佐美、松永、鈴木各長官、芳賀醫院長、豐永所長、國分次官を始め三島鮮銀理事、久保滿鐵京管局長其他を陪賓として晩餐會を催し政務總監の挨拶に次で濱田副議長謝辭を述べ主客歡を盡し實後更に歡談散會せり

●國庫債券發行
鮮銀本支店扱ひ

政府は今回電話公債一千萬圓、鐵道公債二千五百萬圓朝鮮事業公債一千三百廿三萬餘圓合計四千八百二十三萬餘圓に充當するため國庫債券五千萬圓を發行する事となり其の條件等は十一日朝刊東京電報の報

●東拓增資
長期資金の必要
某有力者談

東洋拓殖會社に於ては現資本金一千萬圓を二千萬圓に增資する案を來る廿二日東京に於て開會する▲株主總會に提出する事となりしが右增資理由に付財界某有力者の談を聞くに東拓も昨年法律改正の結果其の事業範圍大に擴大し現に資本金九百萬圓の海外興業會社並に三百萬圓の東亞勸業會社の株式約四分の一を引受け何れも第一回拂込みを了し哈爾賓の電燈會社にも相當の投資を行ふ事となり居れり又滿洲朝鮮に於ける不動產金融の活動は今後益々其の進展を企圖し一方には鮮內各地に水利事業を計畫しつゝあり、更に亦機會を見て南洋方面にも其の手を延ばさんとし居れり現狀如斯に付現資本金一千萬圓にては既に不足を感じ現に約▲四千萬圓の社債を發行し尚ほその債券發行餘力は六千萬圓を有する譯なれど東拓の放資はその性質上長期資金を必要とする實情あり各大銀行大會社が資本集中主義に傾きつゝある財界の狀勢等より觀て資本金を倍增しその基礎を固め償還餘力を存する必要を感ぜしなるべく如何れ增資の意圖ありとせば可成速に之を斷行するを有利とする事情も含み居らん何となれば時局の關係は金融界の大勢を漸次緊縮せしめんとする傾向あり時日を遷延すればそれだけ會社にとり有利ならざる模樣あるを以て旁々此際資本增加の途をとるに至りしならん

▽プレミヤム幾何　東拓增資株中政府持株たる三百萬圓六萬株(前號に三萬株とせしは誤まり)は政府に割當てを行はず之を公募に附する事となれり而してそのプレミヤムは幾何となるか財界にて興味を以て見られつゝあるが增資發表前の會社株式は五十圓拂込み七十四五圓の時價を維持しつゝありしに付先づ十圓乃至十五圓の割增しは附せらるゝものと觀て可なるべく假りに十圓平均のプレミヤムを附せらるゝも會社は一躍六十萬圓十五圓とすれば九十萬圓の積立金增大を見る計算也

●朝鮮關稅問題(下)
批評よりも立案を先にせよ

大連商業會議所より前述の如き照會ありしに對し我京城商業會議所は『將來の關稅率の如何は朝鮮經濟界に至大の利害あるを以て政府の改正意見を知らんと欲する念切なれども如何なる方針に基き關稅を進めつゝあるや未だ明かならず但し帝國議會に於ける▼政府委員の說明並に諸學者の見解に徵するに統一關稅に據り朝鮮を以つて內地關稅區域に併合せむとするもの、如し然れども當會議所調査課の結論は之に反し寧ろ保護主義を加味したる獨立關稅を採り尚ほ進んで滿洲と渾一したる經濟地域を完成せしむるに在り、統一主義者の論據は(イ)近世の殖民主義は同化に在り既に政治的に同化の實を擧げし朝鮮は更に經濟上の同化を試み相互の關稅障壁を撤廢せざるべからず(ロ)朝鮮は純然たる帝國の領土にして單に殖民地とのみ目すべからず同一領土中に▼關稅區域を二三にする謂れ無し宜しく此機を利用して之を撤廢すべし(ハ)朝鮮貿易は殆んど內地に對する移出入に終始す其間關稅を設定する如きは當を得たるものに非ずとの三點に歸結する如きも吾等が獨立關稅制を主張する所以は(イ)朝鮮の統治は素より同化主義に據れるも更に撫育主義を重んず從來指導し來れる產業は正に嚴密なる保護關稅を要する時代として此際關稅を撤廢するは即ち▼撫育主義に反す(ロ)朝鮮が帝國の領土たるは論なく關稅區域を特殊にするは決して好む所に非ざるも朝鮮が帝國內に併合せられたる併合せんが爲めの併合に非ず其の目的他に在り而も民度風俗內地と逕庭あり僅かに此論に皆向する能はず結局併合の目的及び其他の理由よりして滿蒙と同一地域たらしむることを主とす(ハ)朝鮮は既に財政の獨立を宣言せり從つて將來收入の確實にして普遍的なるものを擇ばざるべからず此の方面より貿易の大宗たる移出入品に課稅するは最も適當なる財源にて之を存續せざるべからずとするに在り』と回答して置いた之は勿論會議所理事者としての意見で▼評議員會の決議ではないが全體事件が確定して仕舞つてから其出來たものに對して彼れ之れ非を鳴らし若しくは不平を述ぶる樣なことは餘り効能がないものであると同時に座敷の中で滿洲や蒙古を遣り取りする類の無造作な問題と異り各方面の人が協力して考案することを要求すべき懸案であらねばならぬから批評の側に立つよりも立案する側の方々が多い事を歡迎すべき事かの樣に思つて居る(京城商業會議所大村書記長談)

●鮮銀四回拂込
二千萬圓拂込濟

朝鮮銀行にては昨年增資せし新株十萬株に對し第四回拂込み一株に付廿五圓乃ち二百五十萬圓を徵する事となり其の期間を六月四日より八日までと公告したるが右は當初よりの豫定にて同行外國爲替の活動各地支店增設對支借款の引受並に一般財界の膨脹に伴ふ資金の需要激增等のため一層資金の充實を必要とするためなり尚ほ以上を以て鮮銀は二千萬圓金額拂込濟となる譯なり

◎仁川期米暴落
正米も安合ひ

外米管理令の運用實施とその指定價格の發表に伴ひ內地期米界の動搖甚しきが仁川取引所も亦十日後場に於て二十一圓九十錢に軟化し又復二十二圓臺に戾りしも平均二十二圓恰度の相場を現はし十一日前場は少許の強味を見せしも二十二圓十八錢安値二十二圓九錢にて危く二十二圓臺を維持し居れるに過ぎず前途混沌の商狀にあり尚ほ十一日の京城正米も二十錢安なり

◎水產輸出會社設立許可

曩て香椎源太郎氏等より出願中なりし水產輸出會社は五月七日附を以て許可の指令ありたるが同社設立の目的は最近一ヶ年間朝鮮に於ける水產物漁獲高は約一千六百萬圓製造高九百萬圓の巨額に達せるに拘はらず外國輸出品として加工されたるものは支那向二百四十萬圓歐米向十萬圓內外に過ぎず而かも其製品は朝鮮より直輸出販賣を爲すもの無く一旦內地へ移出し內地產品として內地商人の手を經て居留外國人へ賣渡しつゝあり爲めに獨り朝鮮水產物の聲價を揚げ得ざるのみならず利益は他に吸收せらるゝの狀態に在りて製造業の進步は得て望むべからず加之製品の統一を缺く爲め外國より多額の註文を受くることあるも之れに應ずる能はず實に朝鮮水產業上根本的缺陷なるのみならず經濟上の不利益尠少ならざるものあり從今後漁業の發達に伴ひ漁獲物增加するに至るべきが之が有利なる處理方法を講ずるは今日の急務なり仍て同社は專ら朝鮮在住當業者及び其關係者を以て組織し當業者と連絡して水產製品の統一其改良を行ひ且つ外國直輸出の機關たらんとするものにして其業務は主として輸出向水產物の製造買收水產物の委託販賣及び附帶事業として漁業並に資金の貸付輸送に關する業務[illegible]及び製造業用品の貸附又は賣買等を爲すべく本店を釜山に置き資本金百萬圓(五十圓株二萬株四分の一拂込)にして內一萬三千三百株は發起人に於て之を引受け六千七百株を公募する筈なりと

●爆發物取締規則改正

爆發物取締規則中改正を要すべき點あるを以て目下總督府に於ける當事者間に於て審議中なるが近く其の發布を見るべし

●辭令　十日附を以て左の通り辭令ありたり

總督府技師兼工業專門學校教授　小岩井兼輝
任京城工業專門學校教授兼總督府技師

●經理部閉鎖

平壤に設置しありたる朝鮮駐箚軍經理部平壤出張所は客月末限閉鎖せりと

●營林廠出張所廢設

內務部營林廠出張所は十二日を以て廢止され咸北會寧に出張所を新設したり

●電信事務員の卒業

遞信局にて養成中なりし通信乙種傭人見習生(電信)廿九名は九日卒業式を擧げしが岡本長官代理の訓示あり野監理課長の祝辭あり各卒業生は京城釜山平壤等の各局に赴任せしめたり

◎九州見物(八)
磐溪生

◎觀世音寺　腕時計の針の動くを見ては車夫を勵ましつゝ、觀世音寺に到れば二日市驛發の時刻までには僅かに一時間を餘すのみ門前に俥を棄て驅足にて

◎寺內を參觀す　當寺は滿水山普門院觀世音寺と稱し、今を去る千二百五十年前天智天皇の創建に係り、聖主八代、年數八十餘年を經て講堂食堂法堂四十九院の別院等を造立し全く其功を奏す伽藍の壯麗なる言語に絶せしも、四百餘年の後堂搭悉く炎上したるため、遂に今日の如き見る影もなき一貧寺となり終りたりと言ふ、流石に名刹なりしだけに、國寶として指定せられたるもの二十數點に達し、貧弱なる堂宇は此等國寶に滿されつゝ有り、一行は鐘樓に登りて菅公が『都府樓纔看瓦色、觀音寺只聽鐘聲』と吟じたる有名の梵鐘を見、四天王立像、天智帝御廟の聖觀世音寺藏菩薩坐像、空海作吉祥天立像及び百濟國王が都府樓に貢したる石造の白犬の蒼然たる古色味を觀賞したる後、再び車上の人となり都府樓を車上より眺めつゝ只管に道を急がす

◎天命循環　行く事僅かにして松林の中に小祠あり、車夫曰く菅公謫居の址なりと指す、四邊寂然として小鳥の聲のみ高し、榎寺と言ふ。宇多天皇の殊寵を得て

◎聲望朝野に普く、醍醐帝の御代に至つては右大臣たりし政論奏議一として用られざる事なかりし菅公が、權勢藤原氏を凌がんとするや、朝野の嫉視一身に聚り、遂に讒せられて大宰の權師に貶され、其子弟は悉く流謫され、黨與は悉く滅さる、梅花は散るが自然の運命なり、菅公も亦儒家として權門排擠の中に異數の榮達をなす、何時かは槿花一朝の夢に終ふは

◎當時の世態に於て當然のみ、されば公も不次登庸さるゝ毎に之を辭して身を保たん事を冀ひ、寵幸加はるに從つて浮雲に上るが如き不安と憂慮に襲はれたり、果して流謫の事あり、運命は進む所まで進み、落つる所まで落ちたり、公たる者天命循環の理を覺りたるや否や、菅公は[illegible]の政治家に非ずして溫厚の鴻儒なり、詩人なり、廟堂に立つて政論を議するは公の本領に非ずして

◎筑紫の果に流されて始めて詩人としての本領に立脚したるには非ざるか、菅公の歷史は顯榮と凋落の大變轉に依つて始めて生彩を放ちしには非ざるか、清涼殿に於て月卿雲客の羨望の的となりし公が、見るも悒せき謫居に於て月に詠歎してこそ其の一生を劇的にしたるには非ざるか、夫を思ひ此を念ひ、遙かに車上より謫居の址を弔ひて轉た暗然、走る車遲き事も、此時ばかりは

◎速きを恨みつゝ、幾度か菅原の彼方に榎寺を振返る。二日市驛に著すれば一行も大宰府より軌道車にて送られ來りし所なり

◎馬山

▲朝倉中學校生來馬　福岡縣立朝倉中學校生約九十五名は職員引率の下に來る十五日來馬すべく都合にて鎭海へも趣くべしと▲進永在鄉軍人會　十二日午前十時より金海郡內各在鄉軍人は進永に於て分會總會を開催すべしと▲馬山貿易概況　馬山四月中の貿易概況は輸移出五萬七千一圓輸移入十萬千三百圓合計十五萬八千三百一圓にして前年同期に比し二萬三千圓の激增なりと▲高梨分監長榮轉　釜山監獄馬山分監長高梨勇司氏は約七年間當分監に在勤し今回釜山監獄に轉任を命ぜられたるが不日出發すべしと

◎鎭海

▲鎭海經濟狀況　四月中の經濟狀態を聞くに一般預金は漸次增加を示し金融は依然緩漫を辿り貸出金も大部分は振替へを見るに止まり著しき資金の移動を生せず頗る平穩裡に越月せりと▲鎭海魚類水揚高　四月中に於ける鎭海の魚類水揚高は三千二百三十二圓に上りたるが前年同期に比すれば何れも激減なりと

人事消息

▲西田豐三氏(遞信省監理部主計課長)十一日朝入京釜山へ

酒前茶後

◆物質萬能科學偉業の獨逸に唯心論の流行は結構か不結構か
◆獨帝が偉大なる哲人識士の生れし地よと眞面目に叫ぶは不似合
◆現代科學の精を誇すも老若混合の軍隊は士氣遂に振ざるを奈何
◆茲に於て獨帝獨特の唯心論を案出す論法奇妙又た一流の術策か
◆欲取將軍貧山振恩の衝突を受て土俵に立ち直れるは橫綱格
◆將軍は攻略的の戰士而も部下の慈愛に富み我乃木將軍に髣髴す
◆交際社會には一向無頓著不關夫人愛娘と晩餐を共にす[illegible]
◆巴里にては戰爭記念博物館建設の議熟し戰禍を脫せる美術集收
◆露國は亂麻の如く騷亂衝突に流ふも芝居は大繁昌兩國の好對照
◆露廢帝の皇女樋姬行方不明なりと一時は世界の新紙を賑はす
◆其行方不明の動機は奚ぞ知らん彼の怪僧[illegible]の種を懷姙て
◆臨月近くに從て其の行爲を怪ち姿を隱せりとは之も露國式悲劇
◆女記者として社長との戀の結締を發表して一時問題の中平文子
◆日本は狹い者醜みなりと愛想を盡して奉天に現れ大陸に戀すと
◆愛想を盡せしか盡されしか知らねど植民地は新き女の御意に召か

時間表
[illegible]
十一月一日現行

◆典膳子に於ける女官の配膳

昌德宮のお臺所 (四)

進供は三の膳まである

高い脚のついた朱塗のお膳の上に黄金の鉢、白銀の匙

副食は肉五分魚三分を野菜二分

御飯でも（お香でも何んでも進供は一々女官が）お毒味する、スッカリお毒味の済んだところで始めて配膳に取り分り之を本膳二の膳三の膳に盛り分けて御前に奉るのであるが圓形の甚に高い脚のついた朱塗りのお膳の上には黄金の鉢白銀の匙――進々アツと驚くの外はない進供を御居間に奉ると今一度御附の女官がお毒味する、之は萬一の危險を防ぐ爲めと云ふよりも何よりも寧ろ今日では重要な儀禮の一として行はれるのだ相な、調理の副食物は牛肉五分に魚類が三分あとの二分が野菜と云ふ取合せであるが何にしろ三の膳まであるので品數の多い事は夥く許り

お漬物迄（添へるもの三十通りからあり何彼許り）でも三通り程つく、試みに最近の献立表を見ると斯う記されてある

白飯、赤豆飯、粟飯、[illegible]

之は五月二日の午の献立表で無論日毎に多少の相違があり一日の中でも午と夕とでは又多少の差異があるけれど先づ似たり寄つたりと思へば間違ひなし、之は兩殿下共同じ事で唯時に

御嗜好（の關係から王殿下には差し上げても）妃殿下には差し上げないものもあり妃殿下に差し上げて王殿下に差し上げないものも一品か二品はあるが御飯だけは召し食つても召し食らなくても是非三通りは付けねばならぬものだ相な、米は上白中の上白を本當に一粒選りにしたもので石や砂は云はずもがな同じ粒でも斷げたり小さかつたり不揃ひなものは一粒もない、從つて普通相場より幾らか割高ではあるが外ならぬ主食物のことであるから之は典膳所でも特に高下を論せぬのみか寧ろ獎勵の方針をとりヨリ優良な米を納めさせるやうに努めて居ると云ふ事だ、斯うして典膳所では兩殿下の御用として月

一石五斗（の米を購入れる、一寸考へると非常）に御健啖のやうに思はれるが之は前にも述べた通り三通りの御飯を付ける爲めで、此中兩殿下が本當に召し食るのは空白飯と云ふのに限られあとは時によつて一口か二口真ん中の方をホンのちよつぴり召し食る丈だと云ふ、三通りの御

閃一吾等には其が甚だしき奇蹟の如く感じられるが之も亦五百年間に築き上げられた樣々な慣例の一つではあるまいか。

夏享大祭前夜祭

‖十二日大祭執行

李王家に於ては十二日宗廟讃孝殿に於て夏享大祭を執行すべく十一日その前夜祭を執行せり

ヘーヤ氏逝去

東京高等商業學校教師英國人勳三等アレキサンダー、ジョセフ、ヘーヤ(七十)氏は九日午後三時腦溢血にて逝去したり(東京特電)

鮮人教育に非常な興味

‖省署動議のなかつた學校視察

◎選良園の感慨

裁判傍聽‖死刑が徹底してるのか？

京城幼稚園では口の悪い伯父さん達も感慨無量

代議士團は十一日午前九時から高等普通學校附屬普通學校及び女子高等普通學校を參觀した總て進行で日程を急ぐ一行も

◎**鮮人教育** には非常に興味を持ち讀會省略の動議もなく丁寧に觀て歩く、大口代議士曰く『朝鮮人を教育し之れを同化せしめるには科學的智識の普及も大切だが最も注意すべきは歴史上の觀念である、教科書を見ねば解らないが自分一個の考へでは往古に於ける朝鮮と支那の關係交渉に對する徹底的の

◎**理解を得** せしめ、東亞に於ける日本の地位及び世界の歴史及び其の事情等を遺憾なく教育してこそ始めて同化の根本的觀念が培はれると信ずる』京城幼稚園では例に依つてお猿さんや鶯の歌で感心させ

◎**李鍝公殿下** や李完用伯の令孫などの唱歌があつたが柵瀬代議士は或一種の感慨胸に迫つて一種の哀話だと言つて聲を飲む、京城幼稚園だけはいつも、口の悪い伯父さん達を感慨無量ならしむる、次は京城地方法院、會議室で休憩の後同院第七號法廷で裁判の傍聽をした、丁度姦通殺人犯人の判決言渡しがあると言ふので一同耳を峙て丶傍聽して居たが

◎**死刑の宣告** があつても姦夫姦婦が平然たるに驚き『死刑が徹底して居るのでせう？』と口々に質問する、此處でも進行係りの動議でさつさと引上げ京城中學校を訪問し柴崎校長の案内で校内を一巡午後零時半同校を辭して朝鮮銀行に向つた、朝刊で素破抜いた洒落の双壁大口、高見の兩代議士は今日は自動車も分乘、參觀中でも成る可くカチ合はぬやう一行から離れて警戒したので取り立て丶秀逸もなかつたのは寂寥だつた

千四百萬留を掠奪せんとす

‖多數死傷を出す

十數名より成る強盜團はイルクツク、後貝加爾鐵道廳に保管せる千四百萬留の掠奪を試み金庫の守備兵に爆裂彈を投付け多數の死傷者を出せしも結局成功せざりしと(哈爾賓電報)

全村偸盜事件

‖廣島縣下大迫

廣島縣安藝郡倉橋島村字大迫の住民三十戸は全村擧つての偸盜事件あり贓品は賣飛ばし毎月一回各戸に配當し居る由にて目下呉署にて取調中也(呉電報)

手の長い女

熊本縣天草郡上村生れ前科一犯の小山きな(四二)は京城黄金町三丁目居住中附近の門脇某女より衣類二點を騙取し尚ほ外一商所にて泥棒を働きて逮捕され京城地方法院にて懲役六箇月の處分となれり

成川の火事

去十日平南成川郡邑仁面昌仁里七の三貰賢淑方より出火近隣に延燒して十戸十一棟全燒したり本年に入りて平南始めての大火なりし此損害一千四百二十圓負傷者一名あり犬一頭燒死せり(平壌)

喜びの鐘たのしき 復活祭

‖五日の哈爾賓

[illegible]

神戸大暴風

十日大暴風襲來し神戸在港の艀船十隻沈沒せり(神戸電報)

悪店員處刑

栃木縣下都賀郡中村生れの田波啓三(二五)は京城鍾路一丁目の金田時計店に雇はれ中他人の名義にて二箇所より四十餘圓を詐取し尚同店の時計及び指輪などを窃取したる一件は此の程京城地方法院にて懲役一年六箇月の處分となる

赤い卵の祭

哈爾賓にて

[illegible]

婦人と小供

本町 警察署管内では十五日から廿四日までの間に春季の大掃除をやる事になつて居りますが、これについて一般に注意しなくてはならない事は汚れきつた塵埃を吸ふために一種の

妙な 流行熱病にかゝる事であります東京などでは現に兜町や神田邊で大流行をして居りますそこで一名兜町熱と呼んで居りますけれ共この病狀は？と申しますと今朝まで何の事もなく普通の健康狀態にあつた者が急に夕方になつて四十度以上の熱が出たりまたそれが翌日になると

大掃除と注意

妙な熱病が流行る

ズツト引込んだりと云ふ風で

熱の 差し引きが一定せずたゞの感冒とは一種ちがつて居るとの事でありますこれに就いてその筋の詳しい醫師の話に依りますと例の大掃除の最中に雜多な汚れた塵埃を吸ふために平素から咽喉の餘りよくない人や腺病質の人などが、まづ咽喉から冒されるのでありますがこの汚れた塵埃の中には多數の肺炎菌が交つてゐますのでそれを吸つた人達が

十中 の九分までは冒されるのださうです、そこで患者の咽喉をあけて見ると大抵は紅くなつてゐる、またそればかりでなくお腹も悪くなり、腰や股が拔けるやうに筋肉が痛んだり、程痛かつたりしてだん／＼感冒の特性を現はして來る、いつでも大掃除後出て來る一種の妙な熱病だとの事でありますが病狀に就いては大して心配する程の事はありませんけれ共

それ でも全快するまでには一週間はかゝると云ふ事でありますこの熱に冒された時の注意を申しますと氷枕に氷囊を額にあて丶安靜に仰臥し食物はなるべく消化し易い半熟卵子とかお粥などを取るやうにして病室はなるべく空氣の流通をよくして置かなければなりません、そこで春季大掃除を目の前にひかへて居る皆さん方は成可く注意して

別して 子供などは大丈夫さうでもこんな病氣には冒され易く婦人達でもどんな間違ひでこれが原因となつて大病を引起さんとも限りませんからこれを未然に豫防する事を考へなくてはなりませんけれ共この汚れたる塵埃を吸ひ込まないやうにするには大掃除をする時にはなるべくあの床やさんがして居る樣な

口蓋 を小さい布切れで作つたらいゝと思ひます、しかしその口蓋も普通の布切なら一應消毒をしてしなければなりません、既に消毒してある物で作るなれば尚の事結好であります。

京城弓道大會

十九日倭城臺倶樂部にて

河合(靜岡)廣中(青島)二氏の來京を機とし京城に於ける弓術道場聯合の上來る十九日(日曜)午前九時より倭城臺倶樂部道場に於て大會開催の筈にて龍山、仁川、水原、開城、公州等各地の斯道家にも參加を求めたる由當日は弓道の古式に依る射形等ある筈にて京城に於ては從來未だ曾て有らざる催しなれば當日は定めて盛會なるべし參加希望者は來る十七日迄に本町二丁目渡邊水哉氏(電三〇八〇)に申込み大會當日會費五拾錢を持參せば何人にても參加自由なりと

飯塚齒科醫院 東上中五月八日院主歸城

昌慶苑洋樂演奏

‖十二日水亭附近にて

李王職洋樂隊は昌慶苑觀覽者に興を添ふる爲十二日午後一時より苑内水亭附近に於て左記曲目を演奏すべし

一、ナポレオン行進曲 [illegible]

綱島牧師說教

[illegible]

開教院大野遊會

[illegible]

八景園の開業

[illegible]

青木侍從展覽會延期

[illegible]

岡本巡査の訃

[illegible]

記者課題及募集規定

[illegible]

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 [illegible]

商況

兵庫期米

東京期米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

大阪株式特電

下關期米特電

[illegible]

大豆更に低落

買人無く大豆は殆ど

[illegible]

製粉は稍軟調

二四十錢安

[illegible]

白米は小弛む

日本人向は十錢安 鮮人向

二十錢方下落

[illegible]

下關相場

[illegible]

仁川正米

米口に買望み安値に渡

[illegible]

釜山穀物(十日)

[illegible]

内海仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川本町

仁川期米

▲十一日前場（保合頭重し）

先二十二圓十錢と八錢高に寄付

[illegible]

大阪天候晴天

二十五圓七十二錢と昨止より十二錢高

[illegible]

雜報

綿糸布小戻す

棉二仙三五高

小綿は一圓内外の現物

三五圓方引返し

綿布十圓六十五錢

三銘先物は十圓六十五錢

正米は氣安し

附口安 二十錢方 粗方脱

銑鐵は強硬

突破 目先四百圓

[illegible]

各地商況

[illegible]

南大門の雜穀

[illegible]

廣澤正次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長七六番

大五仲買店 仁川米豆取引所 店主 猪飼政太郎

市場雜觀

[illegible]

仁川取引所

十一日の七月限

近々三日間 一圓八十二錢 急轉直下大暴落の成行 比當地は一圓十一錢に過ぎ

押し八錢と返し六錢 大混戰を演出

新規買物一部の投げ一面利喰

人氣稍逡巡 二百五十丁

[illegible]

倉庫 仁川海岸通 電話

大 くもり 曇り後晴れ（十一日午後六時より十二日午後六時迄）五月十二日

[illegible]

京日紙上お伽講演
忠臣の別れ
龍山　涙光

さすがの智慧者と言はれ、小さい農村から身を起こして遂には天下を掌中に握りましたが、何それだけではあきたらない豊臣秀吉は朝鮮までもその武名と威光を張り出して随分思ひ切つた仕事を致しました。かほどの偉い智者でも死と云ふものには敵對する事が出來なく一代の成功一代の榮華を打捨てゝ愛子達の中でも特に愛して居たいけ盛りの秀頼とも別れて逝つて仕舞ひました。秀吉の沒後の大阪城は火の消えた後のやうに淋しくまた冷たいものでありました。その時秀頼公は僅か六歳のまだ何事もわきまへないお父さんが死んだのが悲しいのか嬉しいのかわからないやうな時分でありました大きな望と謀を持つてゐた徳川家康のためにはきつと天下を天が私に與へて呉れたのだと喜んだでせう、豊臣の重なる家來共もみんな家康の下に轉じて行きました後には幼い秀頼とその母さんの淀君が力となつて呉るやうな人は朝鮮迄出かけ虎を退治て有名な加藤清正と片桐且元等があるのみでありました。何て哀れな事でせう去年のお正月には随分愉快に面白くお正月を迎へた秀頼も斯うして淋しい中に七つの春を迎へました、これに引換へ徳川方の勢はなかなかすばらしいものです、丁度そのころ豊國神社の祭禮に家康は清正を招いて御馳走をして美味しいお饅頭を出しました、注意深い清正はこのお饅頭の中には毒が入れてある事を悟りましたが家康が無二の忠臣と信じて居る淸川が自らをの一つを取つて食べて見せて清正に勸めますので清正も今は致方なく武士の意氣地と義理にせまつて覺悟をきめて毒とは知りながらその一つを食べました徳川方の者達はどんなに喜こんだ事でせう目の上のこぶと思つていた清正がやすく謀にかゝつて仕舞つたのですもの、それから後清正の身體は日に日に衰弱して參りますので今はこれまでと思つていよく今日と云ふ日に幼君においとまごひを言上せんと片桐且元と共に登城致しましたをりから城の空の上で一聲絹を裂くやうな時鳥の聲が……鬼をもひしぐ程の清正も城のぐるりを見廻して思はず涙をハラハラと降らせました、淀君は聲をしぼつて泣きながら『今更こんな事になつたのはきつとお前は心がはりがしたのであらう、これから徳川方へ行くのであらう』とかき口說きかき口說き恨の眼を泣きはらしてゐます、清正は言葉をつくして『いゑく決してそんな不忠な清正ではありません、これから國の熊本へ歸りましても、まだ此處には大阪城の鐵壁と云はれた且元もお守り申して居りまする、老いは致して居りましても若しかの大事が起つたらこの清正も直に走せつけて參ります』道理をわけたその言葉に今は淀君も清正の歸國をお許しになりました。それから清正はさらに幼君秀頼公を自分の膝に抱き上げてしばしは聲も立て得ないでかほどの勇將の瞳からは只涙の雨が降るばかりでありました。七つになられた秀頼公は落つる涙を拭ひもあへぬ清正の顏をシゲくと打守つて居りましたが『爺や……』と呼んだ聲は鈴のやうに淋しかつたがその瞳は露の玉が一杯になつて次の言葉もしばし出ません清正は氣を取直して『若樣、爺やは身體の病氣のためにこれから國へ歸りまする、吾君樣は隨分身體を御大切にたとひ如何な事が御座りましても徳川方へ敵對せぬ樣に家康公は好いお方ぞ、お父君と思召されまして無理の名を繼けて下さいまするやう爺が一生のお願ひで御座りまする』と云ひ了へてまた一しきり涙の雨、紅葉のやうな小さい手で涙拭きく秀頼公は『爺やの言葉はきつと守るけれ共、病氣のために歸國したならもう再び此處へ來て呉れないのか、病氣が重くなるなれば看護の者も付けてやらう、それで物足らなかつたらこの秀頼が看病してやる程に何時何時までも秀頼の傍に居て呉れないか、若し國に待つて居る妻や子供があるのならそれは呼び寄せてともやる程に、晴爺やこなみ居る人達はみんな聲を立てゝ泣きました猛虎をひしぐ程の清正も幼君をしつかり抱きしめたまゝ聲も立てずに泣いて居ります、いつまで泣いても別れはつきぬと清正は秀頼公をおしやつて立たんとすれば幼君はヨチくヨチと走り寄り『爺や、爺や』と袖にすがつて顏をうづめて泣いて別れを惜しんでゐます。君に仕ふる臣として清正のやうにありたいものではありませんか、外には悲しい五月雨が降つて居ます、また一聲、絹をさくやうな時鳥が啼きました。

最大急行列車廢止

西比利亞鐵道運輸狀況に鑑み滿鐵會社にては十二日午前六時六分釜山棧橋著急行列車を以て最終となし急行列車を休止する事となり各最終連轉列車は八日午後十時釜山棧橋發十日午前零時三十分奉天著第八百三號列車は奉天にて列車を解き此の内二等寢臺車手荷物合造車及び食堂車、手荷物郵便合造車の三輛を大連に廻送し他は南大門に廻送する事となり又九日午後五時大連驛發十日午前長春著第八百一列車は長春に於て列車編成を解き機關車は大連に廻送し客車は全部長春驛に豫備として留置くとの事なり又九日午後七時三十分長春發十日午前十一時大連驛著八百二列車は大連驛に於て列車の編成を解き十一日午前三時奉天發十二日午前六時六分釜山棧橋著第八百四號列車は實に滿鮮全線に於ける最終の急行列車にして此の内二等寢臺車、食堂車一は大連へ手荷物郵便合造車及び一等寢臺車二等寢臺車手荷物合造車は奉天に廻送せらるゝ筈なりと（大連）

起業の勃興
◆銀行、陳列館、製造等

朝鮮銀行出張所の開設と四平街銀行設立は四平街起業上多大の援助を與ふるものにして土地發展上悅ばしき限りなり近く出願せんとする資金五萬圓の四平街陳列館は有志者の出資を以てし目的は內外商品見本陳列及び滿蒙に於ける輸出入貿易倉庫業代辦業其他の企業等なるが倘合資會社にて醬油味噌酒類の醸造計畫あり其他未發表なるも一二の共同組織に依る各種製造的會社發表せらるべし（四平街）

鼻息荒し
支那兵の威張方

支那兵はセミヨノフ軍の前進により同軍とをつて代るべく哈爾賓駐屯支那軍は滿洲里國境方面に向け漸次輸送せられつゝあるより吉林軍は再び東支列車により日々哈爾賓に向け盛に送兵し居れり近來支那兵の鼻息荒き事未曾有也（長春）

甜菜發芽す

朝鮮製糖株式會社に於て平壤附近一帶に播種せし甜菜は昨今漸く嫩葉發芽を見成績頗る良好なるも害蟲の發生せし個所多く之が爲め目下同會社に於ては石油乳劑を以て極力害蟲驅除に努め居れり（平壤）

新義州魚菜市場

新義州有志者間に於て久しく市場設置の希望ありしが愈々近日中に資金五萬圓を以て水產會社を組織し同社附屬事業として魚菜市場を經營すべく準備中なり（新義州）

沙河鎭製煉所

沙河鎭なる大倉製煉所は本月上旬までには事業開始の豫定にて工事を急ぎゐたるが機械の据付に手間取りしため開業の運びに至らざるが機械の据付も本月中には終るべき由なれば遲くとも來月上旬開業すべしと（安東縣）

滿期兵解隊

安東獨立守備中隊にては來る廿三日新入兵の編入を終り二十四日に滿期兵約六十名歸國すべし（安東縣）

大正水利竣工式

不二興業會社大正水利組合は來る廿七日竣工式を擧行の筈（安東縣）

陸地棉の生產
一躍二百五十倍
◆忠北の棉作五千町步◆

忠淸北道は由來米の產地煙草の原產地として相當の產額を收めつゝあるも近來道廳に於て陸地棉作獎勵の結果頗に耕作者の增加を來たし昨年二千三百町步を試作せるが本年に入りては五千町步餘の盛況を示し特に淸州郡の如きは四十町步より一躍一千町步の優勢を示し沃川、報恩、永同とも盛んに耕作に從事せり尙ほ鎭川、槐山、陰城、各郡に於ては試作中なるも前途頗る有望なり而して昨年中の成績を調査するに一反步平均八十斤乃至百斤位にして時價一斤二十七錢なれば一反步に於ては三十圓內外の收益を觀たる所以にして比較的栽培に勞力を要せず僅少なる肥料を以て半歲に於ける收益なるがため一般農民に於て頗る好況を來たせり種子は槪ね米國種にて淸州の氣候關係上四月十七八日頃より播種に取掛り五月七八日頃に了す已に早蒔の分は昨今の潤雨に發芽せるが成績頗る好良なり（淸州）

荷物の中から
十三人の遺骸
◆中に乾固つた屍體も◆

大連滿鐵埠頭倉庫の中で六日午後四時頃海關檢査官が荷物の中から十三個の屍體及び人骨を發見せし事は既報の通りであるが同日午後六時龍口行汽船生利號に積込む吉林から山東省膠州府行の柴薪草大包の數個の中に何か固いものが入れて有る模樣があるので稅關吏は怪しみながら包裝を解いて見ると驚くべし各包みの中から頭及び手足が完全に揃つた人骨が續々と現れ都合十三人の白骨が並び中には死後四五箇月位の乾し固まつた屍體もあり又死後一年位にて未だ白骨にならず處々に腐肉の附著した物凄い男女の屍體が入り亂れて横はつた爲め埠頭の滿鐵社員を始め稅關吏等は喫驚仰天して水上署に訴へ出で荷主を取調べたるに先刻より白骨の傍を離れずについて居た一人の若い支那人が恐る〳〵之れは自分が輸送を託した荷物であると申出でたが此の男は山東省膠州府黄山後の居造欽（三二）と云ふ者であるが數年前一族と共に吉林に出稼ぎを爲し今では相當の資產を拵へて居るが此の間に叔父叔母及び親戚の者が六人死亡し其他同鄕の者で出稼中に死んだものが七人あるが今回此等の死亡した人達を故鄕にある祖先からの墳墓に埋葬する事となり居造欽は選ばれて其の任に當り十三個の屍體白骨を鄕里に送り屆ける途中であるが惡臭が外へ洩れるのを防ぐ爲めに葉煙草の中に包み込んで來たので別に惡意のある譯ではなく屍體には一々姓名を書き付けた木札が付いて居たので事情判明し屍は警官の說諭を受け改めて屍體は木棺に納めて山東に輸送する事となつたが近來人騷せの事件であつた（大連）

三人組馬賊
二萬餘圓强奪す

新式五連發拳銃を所持せる三名の馬賊は平安北道慈城郡慈下面西洞釜沼對岸支那領化皮甸子の支那旅館を襲ひ宿泊中なる臨江縣帽兒山居住の商人王某外四十名を脅迫し現金二萬餘圓を强奪せる上逃走せるが被害者一同は餘儀なく帽兒山に引還したるが此報に接せる輯安縣大小水盡水上警察署長は部下を率ひ討伐に赴き各所搜査中なるが未だ何等の手掛なしと（新義州）

逃亡娼妓と懸賞
◆龍山から平壤へ轉賣せし女◆

平壤〇〇町遊廓美好樓抱へ娼妓萬壽子事渡野〇榮（二〇）は昨冬龍山より前借七百五十圓にて轉賣し本年一月一箇月の稼業を爲したるのみにて病氣となり平壤慈惠醫院に入院中の處漸く快癒に赴きたるが去る四日未明何れへか逃亡せしを五日夜に至り初めて發見し大騷ぎとなり各所に手配を爲すと共に一面同妓の居所を通知せし者には金五十圓を懸賞として同樓より贈るべしと（平壤）

營口實業學堂設置

滿鐵會社にては營口東道回門東街協街に營口實業學堂を設置する由なるが右は支那人に對し中等程度の商業教育を施すを以て目的とし豫科、本科及び研究科の三科に分ち本科は三年其他は各一箇年の修業年限なりと

ホテル主任更任

奉天ヤマトホテル主任三原重俊氏は這回大連ヤマトホテルに轉任を命ぜられ十日愈よく奉天を出發赴任せり、後任には長春ヤマトホテル主任大塚氏來任すべしと（奉天）

白山黒水

奉天の朝鮮銀行支店は曩に參百萬圓の支那借款を成立せしめこんど又復參百萬圓を契約することゝなつた▲金は奉天の支那銀行官銀號を整理する目的で奉天の財政廳に貸しつけるものであるが現金は數日前既に受渡し濟みとなつた▲何れにしても日支の經濟上の接近は洵に結構なことである▲小西鮮銀支店長は未だく此の上支那側と相提携して行きたいと語つて居るが盛んに仲よくやつて貰ひたいものである▲それにしても小西氏が支那人間にうけのよき事は鳥渡不可思議の次第であるがそれは氏の腕よりも面貌の然らしむるところであらう▲氏は縱から見ても横から見ても支那の大人でこれ位支那化する人は日支親善にはお茶の子であらう▲ポプラが芽をふく白い梨の花が咲く滿洲の春もいよく闌となつて來た▲このころ毎日の樣に砂塵はあるが滿洲の春も決して惡くはない（奉天）

演藝案內

大正館　櫻井町　電話八七三
▲日活新派劇「忠臣藏」　六千呎

稻荷座　本町五丁目　電話二三八
桃中軒雲太郎一行

有樂館

黄金館　電話二六三七

壽座　京城壽町　電話五七八番

壽館　京城本町　電話一〇五〇

山葉、鈴木製樂器代理店
山口樂器店
京城本町二　振替京城五二五番

強い　ダイヤ本賣　一圓九十錢
大阪ゴム製造所
電話西一九二四番　振替大阪二〇五番

懸償尋ね人

金五十圓呈上可仕候
平壤賑町美好樓主　中村好藏

質　倉庫完全　債券買入
杉本質店
京城櫻井町二丁目　電話一〇三番

月やく

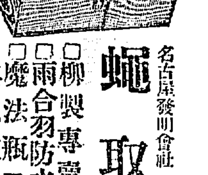
五月から
ハンカチに絶やせぬものは
金鶴香水
誰も喜ぶ良い匂ひ！
六七月は言ふも更らなり

【入院隨意】
京城西小門町二一番地
田中丸病院
院長　醫學士　田中丸治平
副院長　醫師　上野和夫
電話八八五番
普通病室隔離病室の設備あり

禁煙パイプ
東京醫藥學會新發見根本的禁煙風味液
東京神田猿樂町三丁目

株式會社　第一銀行京城支店
資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千貳百貳拾萬圓
總預金　貳億貳千六百萬圓
頭取　佐々木勇之助
支配人　西村道彥

支配人
東京本郷區湯島


名古屋發明會社一手販賣
蠅取器
柳製專賣品　トランク
雨合羽防水布引マント
魔法瓶及中瓶
其他旅行用具一切
高木旅行用具店　京城本町一丁目

魚釣具及網　投卸賣小賣
吉備商會　京城本町

男のひみつ病
名譽大金牌

塚原卜傳

第七十二席 悟道軒圓玉口演

ト男五助は拇指を一生懸命押へて顔を顰めて居る、源右衛門が『源其れは困つたなア、生爪を蹴剝して、創谷めでもした節には後で何時までも惱んで往かん、待て〳〵幸ひ此所に持合した膏藥がある、之を塗けるが宜い』と懐中から取出して 源『其手を放すが宜い、俺が膏藥を塗つてやる』と親切に傍へ立寄つた源右衛門の足を揃つてドーンと其所へ引倒した、不意を喰つた源右衛門アツと後ろへ倒れ源『五助何をする』と言はせも敢へず脇差を抜くより早く源右衛門の脇腹へブツリと突込んだ、アツといつたが老人の事ではございますし、不意を打たれたこと、血に染んで四苦八苦、虚空を摑んで苦しむ様子、之を見てお八重は驚き入『コレ五助や、お前迄でも迷つたか、なんで然んな事をする 五『マア〳〵御新造、お静になさい、さう騒だつて仕方がないお前さんが精一ぱい怒鳴つても、此邊は人里遠く離つた原中だから、誰も來る者はねへ、何を隠さう私は餘まり正直な人間ではない、サンザン悪い事をして、身持の置所がない據ろなくお前さんの御亭主の所へ下僕に住込んで正直らしい面をして働いて居たが、見れば見る程美くしいお前さんの容貌、實は首たけ惚込んで、年を老つた旦那一人を守つて居なさるのは、嘸かしお辛い事、折があつたら思ひの丈をと、思つた所が主人と家來、ら腹の中で思つて居ても迂濶に口へ出す譯に往かねへ、ハテ宜い塲合はないかと、待てば海路の日和とやら、お前さんには不仕合せだが此の五助には此上もない仕合、遂々家が潰れて居所にも困り、漸々の事で連れ出した此原中、源右衛門といふ瘤が居ては邪魔になるゆゑ先へ片付けて夫からお前さんを連て此所を立退く心算ウンと言ひなさりやア私が女房にして友白髪の八千代まで睦じく添遂げる否の應のと云やア仕方がねえ思ひ込んだ男の意地だ、荒い仕事もせずにやア濟かねへ、素直にウンと言ひなさるが宜い』と聞くよりお八重は眦りサツと切上げて 八『汝れは〳〵憎くい奴、左樣な横道者とは知らず只今まで召仕つたのは生涯の誤り、サア何うするか覺悟いたせ』と豫て用意の懐劍の柄を確り握り詰め、ジリ〳〵と詰寄れば五助は大口開いてカラ〳〵と打笑ひ 五『見たくもねへ女の刃物三味サアそんな脅かしに驚ろく五助ぢやアねへ、巫山戯た眞似をしなさるな』と飛掛る小手下を搔潜る、操は懲ろいてアレーと足許へ駆寄るを 五『エ、此の餓鬼が何を邪魔する』と足を上げて蹴ましたからアツと後ろへ筋斗切つて倒れた、其所は親子の情合、ビックリ驚ろいてお八重が 八『操や、お前確かりしてお呉れ』と振向く途端に、手許へ飛込んで小手をハッシと打つた、懐劍はポロリ取落し残念と拾ひ取らうとする弱腰を、ドーンと蹴つた、ヒヨロ〳〵と蹌踉て後方に倒れる 五『モー斯うなりやア此方の物だ、殺さうと活かさうと俺の了簡一ツ、ウンと云へば宜し四の五の吐きやア仕方がねえ、荒仕事に掛るから覺悟をしろ』お八重は殘念無念と歯噛みして口惜しがつたが仕方がない、柔弱い女の事でございますから、既に斯うよと見れたる時ドーンといふ銃音、五助は胸板を擊抜かれアツと云つてドンと傍へ倒れる、ホツと一息立上つたお八重、不意の銃音に驚ろいて、何事やらんと四邊を見廻すと、傍らの森の中から立出でました一人の男、身支拵は獵師にして眼光爛々として見るからに物凄き男、山刀を腰に打込んで鐵砲を携へて居ります。

赤い羊かん 妾のこゝろ 木村屋名物召しあがれ (京城明治町 電話二八七〇)

曆 五月十三日九星 舊四月四日庚申 本命六白 乾平 先勝

▲六白●● 物の不安を意味する日新事見合南方は吉 [illegible] ▲七赤●● 配合よき日 [illegible] ▲八白●● [illegible] ▲九紫●● 恩を仇と思ふ事 [illegible] ▲一白●● 上運利達の日 [illegible] ▲二黒●● 大儲有 [illegible] ▲三碧●● 心外の事有 [illegible] ▲四緑●● 一喜一憂 [illegible] ▲五黄●● [illegible]

素人を短期養成し成功の途を授く 校外生 本科生 專科生 募集 大阪分校新設紀念特典を提供し 技術販賣員として莫大の收入を得る 必ず規則書を求めよ 東京京橋南紺屋町 自動車學校

日本一 最上清酢 マルカン印

ほまれ味噌 龍 上醬油 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

五月の濃化粧

儀式や祝や集會に宜しい時 紋服や外出着に適しい化粧

中村雁治郎談 (ミツワ文庫七五)

夏の暑い盛ですと、盛装しますにも骨が折れますし、第一折角綺麗に出來あがりました化粧なぞも流れます様なことで散々でございますから、お儀式やお祝なぞはすべて暑い盛は避けます譯でございますが、今は五月の暑からず寒からぬ誠に日本國中何處へ參りましても宜しい陽氣の時でございますから、お儀式なりお祝なり集會なりと中々に多い時でございます。お儀式とか、お祝とか集會とかのお化粧は濃化粧でございます。私も長年俳優として化粧には多少心得て居りますでございますから御參考にまで濃化粧の手順を申し上げませう。濃化粧は儀式やお祝や集會でなくとも、若いお方の派手なお召物に大層よくうつりますものですから、外出などには是非必要なものでございます。先づ濃化粧用の白粉下を少し掌に取りまして兩方の掌で擦りまして、襟あしから頸、咽喉から顔へ及ぼして平均に擦り込みます。それから固煉白粉を化粧水で適宜に溶かしまして、塗毛刷で揃ひ取り、襟あしと後際を塗り、咽喉から顎へかけて塗り、顔より濃く塗り伸し、牡丹刷毛で、白粉を落ちつけて乾かします。次に煉白粉を入用だけ白粉皿へ取分けまして塗刷毛で煉り、襟の白粉よりは一段薄く顔へつけます。襟白粉は煉白粉を二重に塗つて顔よりは濃くすると云ふのが法になつて居りますことは皆様御存じの通りでございます。顔の塗方は額へ一文字に塗りまして、それから鼻筋へかけ兩方の頬へ及ぼして顎の白粉と繼合せます。目の縁だけは素地を殘して置きまして、後でぼかす時の用意にいたします。それから水刷毛に水を含ませて輕く擦り、殘の濕りで、顔を撫で伸し、目の縁と兩の頬へ淡紅色の煉白粉をぼかし、さて鼻叩刷毛に粉白粉を含ませて補つて行き、口紅をさしますと濃化粧が終ります。此ぼかしが●●●●と出來、白粉の濃薄いがほんのりと出來。

健膚藥のミツワ等の軍を塗つて置くことを忘らない様にするのが一でございます

●林長三郎曰く 五月になりますと、頭の地が痒くなつたり、髮が臭くなつたりいたしますが此の際ミツワの(ヤーローション)を髮にふりまして刷毛で擦りますと、髮はいゝ芳香になり、一時に垢や脂がなくなり頭の地まで涼しくなりますから、此からの暖さには誰方も是非お用ゐになるべきものでございます。

▲發賣品日鑑製品 東京橋町 丸見屋商店▼

の縫目が際立たない様に行きますには土器になる地肌を整へることを忘れない様にしなければなりません。それには毎朝の洗面、毎日の入浴に皮膚の榮養を助けるミツ [illegible]

▲原色版▼ 高木背水畫伯筆
金剛山勝探繪葉書 (六枚一組) 定價三十六錢 郵稅二錢
朝鮮名勝繪葉書 (三枚一組) 定價十八錢 郵稅一錢
金剛山の分は萬物相の朝霞、海金剛の叢石、九龍淵の秋、赤壁江の朝、温井里の夕 [illegible] 朝鮮名勝の分は水原、大同江、金剛山玉龍洞を實地に描寫したるものにして其の筆致の優と印刷の巧妙なるとは他に比類なし以て紙質を選び色彩鮮麗なる他に求め得がたき良品なり
京城太平通二丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇 電話(構內十八番)

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス 入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

◎京城府並木町八拾八番地ノ弐 一、垈六拾坪 最低競賣價額金百八拾圓也 一、同所八拾八番地ノ參 一、垈九拾六坪 最低競賣價額金弐百八拾八圓也 一、同所百四拾四番地 一、垈參拾坪 最低競賣價額金九拾圓也 右不動產所有者 中立人 宮本建十郎 山田 [illegible]

◎京城府 [illegible] 一、垈 [illegible] 坪 最低競賣價額金 [illegible] 一、地上建物 [illegible] 一、此建坪 [illegible] 右不動產所有者 [illegible]

◎京城府太平通弐丁目 [illegible] 一、垈四拾四坪 [illegible] 最低競賣價額金六百拾六圓也 右不動產所有者 [illegible]

以上競賣期日 大正七年五月拾八日午前拾時

寫眞 出張撮影 [illegible] 京城日報社 寫眞製版部

富の道しるべ 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替京城三〇〇番 日報社代理部

新式耐水調革 新田帯革 朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行 定價表申込次第送呈

りん病 ばい毒 [illegible] 京城永樂町 [illegible] ドラッグ商會本部

明治博士試驗 健腦丸 腦病良藥 KENNOGWAN

一回服めば必ず効く腦病良藥 健腦丸!!

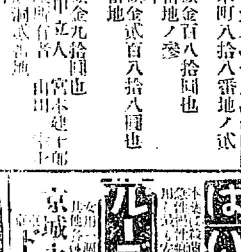
かゝる人は健腦丸を服用せよ
頭重く頭痛眩暈に惱む人、大酒家喫烟家又は逆上せ易き人、遺傳的中風卒中の素質ある人、耳鳴又は充分眠られぬ苦む人、よく物を忘れ記憶力減退の人、便秘勝ちで常に氣分悪しき人、呼吸も事も耐難に動き易き人、仕事に掛りてもスグ倦き易き人、神經衰弱ヒステリー症の人

特長 少量服用で迚も能く頭を冷し卜氣を引下げ血の流通をよくし恐る可き腦充血や中風卒中を未發に防ぐ特効あり

藥價 四日分二十錢 一週分四十錢 二週分七十錢 三週分一圓 五週分二圓 十週分三圓八十錢

本舖 大阪 東京 丹平商會藥房

全國賞狀廿四個受領



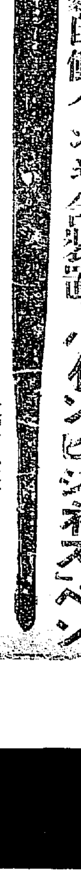
なるほど 美味である 滋養がある と 賞讃されつゝある 蜂印香竄葡萄酒 よく味つて見て下さい!

必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が見出され升

毎食前一杯づゝで元氣健康を増進す

蜂印香竄葡萄酒は滋養分と補血强壯剤を主成分として精製せる醫良品なり 到る處の藥店酒店にあり

東京本町 近藤利兵衛



米國製 十四金ペン 特殊創案 自働インキ含裝置。パインビジネスペン 定價金壹圓九十五錢

進歩的經濟的文房具の需要に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟たず、而して此の金『ペン』先を裝する軸はエボナイト製に削りては唯あるのみ商裝誰せし『ペン』の背後に密接する特殊創案の『パインビジネスペン』先は耐久力が期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる理想的の高等文具にして各銀行、會社、官廳より御用命陸續たり

賣捌元 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

港灣を解體すべきに依り一般荷主は之が爲め運賃の下押を見るた[illegible]

第五版

▲第二次の發表を近く[illegible]見せらる可きを氣構へ荷主は[illegible]既約品の積出を急ぎ船腹の爭ひ[illegible]十弗にて滿船取極め[illegible]も太平洋岸行貨物の出廻りを[illegible]の九十弗にて引合ある有樣にて[illegible]「パシフイク、ライン」の撤て[illegible]

▲最近出貨旺盛 にて[illegible]噸二百五十志を唱へ居れり而し提供船提供後は船腹不足を告ぐ[illegible]型船は極めて稀なるが故に即ち大型船は尙一段の昂騰を見るべき形勢なり現に悠紀丸（[illegible]千百噸）七月[illegible]尤も白鹿丸は十一哩のスピードを有する船舶なれば

▲普通の貨物船 と幾分其[illegible]北海道カムチヤツカ方面の漁期に[illegible]する船腹を要求するもの多く且つ[illegible]期に向ふと同時に北海行荷物に對し結局は船腹過剩を杞憂せられ居れば時局[illegible]事情なき限り二十七八[illegible]も更に用小型船は漸次新造船現出[illegible]難を突破するは先づ困難ならんと

京城日報

十二日朝刊（朝刊夕刊と併せて八頁）

定價 本紙一部金二錢 一ヶ月金五十五錢 ▲三ヶ月分金[illegible] ▲六ヶ月分[illegible]
廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

京城日報 獨逸の內憂

獨逸が今日最も恐るべきものは、聯合軍の强勇よりも、國內の社會民主黨にあるもの丶如く、而して政治革命機は、漸次近きつゝあるの觀あり。故に獨逸は其の對內策に就ては、相應に苦心焦慮するの結果、或は諸種の流言蜚說を宣布し、不誠意なる講和提議をなす等、此の間に於て自ら進んで政治上の改革を計畫し、以て人心の緩和を求めんとしつゝあるもの丶如し。

元來獨逸皇帝は、專制君主なりと云ふも、憲法上の權能は、合衆國大統領よりも、狹小にして、獨逸憲法に依れば、普魯西王は單に聯邦の大統領にして、カイゼルと稱し得と云ふに過ぎず。而して獨逸の眞の主權者は、獨帝に非ずして、實に聯邦參事會なりとす。而も聯邦中には、純然たる自治共和制を敷けるものもあれば、獨逸は本來純乎たる君主制に非ずして、民主政體に近からんとするの、君主政體なりと云はざるべからず。唯其武斷的君主專制政治の如く見ゆるは、ウヰルヘルム老帝以來の戰捷に因れるのみ、軍閥派の壯盛、政權掌握に因れるのみ。然るに玆に共等とは決して相容れざる、一大勢力が、既に十九世紀以來獨逸國內に漲溢せんとしつゝあり、即ち社會民主黨是也。彼は非軍閥主義、非資本主義、民主共和主義を標榜して、獨逸の國情、社會民主黨の發育に適せるを以て、鬱然として、勃興の機の至るを、眈視しつゝ、其勢力を扶殖しつゝありしが、遂に今日に至つては、陰忍其功を奏し、獨逸帝國議會に於ては殆ど第一位の勢力を占むべき大政黨を造成するに至れり。されば獨逸政府に於ても、開戰以來此黨に對しては、實に其操縱に苦み、或は議員選擧法の改正を約し、其他政治的改革の要求に對しても、政府は決然として、之を拒絕するの法を採らざりしもの丶如かりしも、過般普魯西議會に於て、獨帝の保證し、內閣の盟約せる平等選擧法の破るゝに當り、政府は議會解散をも憚りたれば、社會黨は茲に於て沸然として憤慨せり。之れ現政府に取りては、輕視す可からざるの重大事にして、且つ之より普魯西人民が、先づ政府と乖離するの、素因を作りたるには非ざるか。

元來獨逸の選擧法は、普通選擧なるも、二重選擧にして、秘密投票に非ざるが故に、政府の干涉は一々有利に歸するのみならず、現行法は三十有餘年以前の編制にて、人口十萬人に議員一人の割當にて、議員總數三百九十七人なるも、三十年後の今日に於て、同割當を以てせんか、六百五十人たらざる可らず、而も現今議員の黨別より見て、其三分の二が社會民主黨たるに於ては、獨逸は勢ひ同黨主義の下に、支配せられざるべからざるに、立至るべきやの觀なき能はず。斯くて政權彼等の手中に落ちんか、軍閥派は忽ち潰落して、政治の一大革變を見るに至るべし。されば先づ之等を防止せんが爲に、獨帝及び軍閥派政治家等は、此際自ら鞭つて戰勝を得んとするも、內に此憂患の存するあり。其譎詐縱橫の政策を弄せんとするは、洵に窮餘の計とも見るべく。之を要するに、獨逸現政府は、或は兵戰に斃れずとするも、遂には政戰の爲に、倒れざるべきの悲運に、立到るには非ざらんか。

鮮滿在鄕軍人會に望む（三）

帝國在鄕軍人會理事 永沼中將談

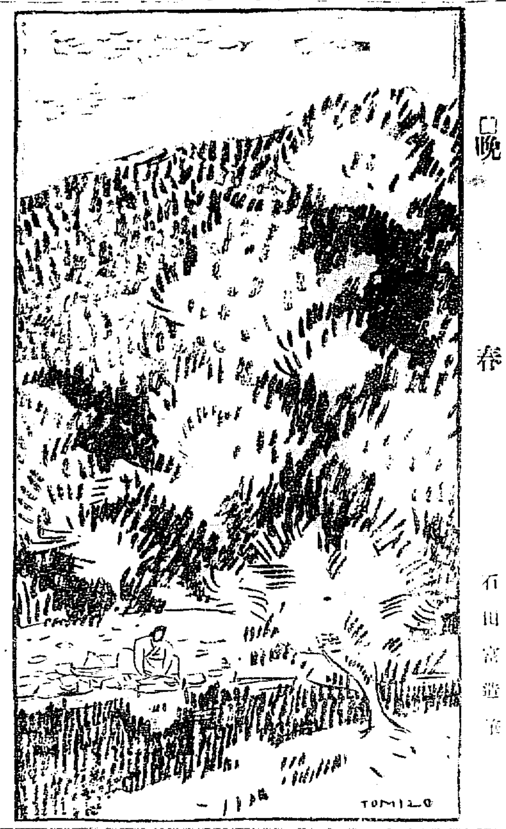
自分は曾て志野の衞戍司令官を爲て居た關係上、獨逸捕虜の有樣は詳細に知つて居るが、彼所には約五百人の捕虜が居るが、其の實際は大に我々に教訓を示すものであると思ふのである。彼等は自分達は戰事に敗けたのでは無いと

▲確信して居る 事實敗けて捕虜になつて居る譯であるが、我等は敗けては居らぬと信じて居る。甚だ痩我慢の嫌はあるけれども、彼等の精神氣魄は實に偉いものだと思ふ。其の精神の勇壯なる點は自分も羨ましく感じたのである。そして將校と言はず、下士卒と言はず、斯う云ふ事を信じて居る。獨逸は決して戰爭に敗けはしない必ず勝つと。夫れを口に言ふ許りではない、之を實行に現はして居るのである。即ち此戰爭が終熄した曉我等は何を爲す可きかと云ふ事を今から研究して居る。言ひ換へれば自分の國は必ず戰爭に打勝つと云ふ事を前提として種々な事をやつて居るのである。此の考への下に彼等は暇を利用して種々な研究に耽つて居るのであつて、或る捕虜の如きは室に大きな

▲漢字の表を掲げて 毎日何字か宛之を記憶し決して忘られない。試みにその學習の程度を試驗して見ると、那々支那語は上手で我々が日露戰爭の際使つた通譯抔よりは遙かによい。何の爲めに夫れを研究するのかと問ふと、獨逸が戰爭に勝つた曉支那に入つて仕事を爲る考へであると言ふ。クーロー中佐始め將校十數名は小學校の教科書に依つて熱心に日本語を學んで居る。自分は其後衞戍司令官から他に轉じたが、病死した一捕虜を色々世話を爲たと云ふので、クーロー中佐から禮狀が來た事があるが、表書は日本字で中佐の自筆に係るものであつた。萬事此筆法でやつて行くのである。彼等は又天性

▲立派な體質を 有つて生れて居る。捕虜五百人中には步兵もあり、海軍兵もあり、丁年未滿の庖厨とか火夫とか云ふ者も四五人は居るが、軍醫に命じて不均體重を取らせた處十九貫平均で堅實に逞ましい體格を爲て居ると言うてゐた。自分が聯隊長時代に平均體量を取らした所が十五貫乃至十六貫が最良の成績であつた樣に記憶する。若しも體重が人間の强弱を計るメートルであると言ひ得るならば日本人は獨逸人よりも三貫丈劣つて居る。戰爭すれば強い者が勝つと云ふが普通ならば我々は敗けざるを得ない。彼等は天性立派な體格を有する上に盛んに運動を爲る。捕虜の如きも雨降らぬ限り毎日午前午後の二回必ず運動を爲し頗る勇壯活潑な遊戲をやるとか、打揃つて散步を爲るとか絕えず

▲體力を鍛へる 或は寒氣肌を刺す樣な日にでも白シャツ一枚になつて一生懸命運動を爲す。學運動は決して缺かさない。此故に彼等は益々丈夫になるのである。然るに日本人は先天的に貧弱な體格を有つて生れて居るに拘らず、飮み過ぎ食ひ過ぎで始終身體を惡くして居る。進んで毎日運動を爲て身體を鍛へる如きは常人には見られない事である。



晩春　石田富造

朝鮮の書畫に就て（三）

鮎貝房之進氏談

次にこれも矢張り三國遺事に傳へられて居る僧侶であるが單に畫のみでない彫刻、陶器術、書法等藝術に傳通せる良志といふ人がある。恐くは新羅の藝術の元祖はこの人にあらずやと思はれる。同書に依るに旁通雜藝に神妙絕比叉善筆札とあるから諸藝術に傳通せる僧侶であつたことは明かである。然るに其の出所はこれ亦甚だ曖昧である。釋良志未詳祖考鄕邑唯現跡於善德王朝とあるから、これは善德王朝の時代の人であるには相違ない。併し其の畫を描りといふものは實に唐突なる話で、跡を善德王の時に現はすと斯う書いてあるのみならず良志といふ名の如きも、其の時代の朝鮮側では多くは地方語で名を命けてあるのに、これは一の漢文的となつて居るのから見ても私は大疑問を有つて居るのである。而してこの人の遺跡と思はれるものは、只今總督府博物館に陳列されてある慶州天王寺塔基下より發掘せる彩釉の塑像の神將像である。これは繪畫ではなく刻畫であります若し其の作者が朝鮮人であつたとするならば何か其の中に朝鮮氣質の表現を認めなければならぬ。然るに其の手法の渾然にして體格の整うて居ることは他に類似がないのであつて、實に完全なる所作である。何故これが釋良志の作であるかといふに三國遺事中に良志傳に靈廟寺丈六三尊天王像並殿塔之瓦天王寺塔下八部神將法林寺主佛三尊左右金剛神等皆所塑也とあり、天王寺は他の寺院の殆どが火災に罹つて居るにも拘らず餘程後代まで幸に火災にも罹らず殘つた。私も先年其の發掘場所を實見しましたが恰度塔基の下から發見されて、今西校位は發見されて居ります。これは支那の古美術に比較して見ても決して遜色なく寧ろ優越して居る所作である。現存して居る朝鮮の古美術品を見ますに如何に時代が古くても何處かに朝鮮氣質が發揮されてある。惡く謂へば間の拔けた處善く謂へば無頓著な處があるのである。

愛劒趣味（八）

片岡鶴泉

伏見帝の正應頃には斯界の中興者たる五郎入道正宗は相模國鎌倉に顯出して別に相州一流の法を傳へ眞宗、秋廣、左等の十哲を養成して何れも覇氣滿々たる雄姿壯烈なる作刀を出せると同時に山城には來國俊同了戒大和には當麻國行當手掻包永、備前に吉岡一文字助吉肥後に延壽國泰備後に三原正家加賀に藤島友重美濃に志津兼吉其他多くの名工を輩出したる康應の頃まで凡そ百餘年間を第三期と假定し得べく反說世間或は相州傳を以て正宗獨特の發明なりと輕信するものなしとせず然れども何ぞ知らん凡そ事物は必ず原因結果あることを即ち正宗以前元久の頃粟田口國綱は隱岐を辭して既に鎌倉へ下り又た貞永の頃備前三郎國宗も旣に鎌倉へ移住し次で備前助眞も亦た來り此の三巨匠の競技は更に各自多くの門下を出したるは勿論正宗の父行光も斯る薫化に浴したるに於てをや正宗は天資穎悟精銳一にして粟田口や備前の鍛法にのみ滿足せず所謂時代に適應したる華實兼備の作刀を工夫し得たりとするも其の精神其の技の根源は前掲三匠に發したるを信ず余も初めは斯く思へり即ち寸延びの短刀にして光包や太平造りに身巾廣く其肌大板目に燒刄は大亂にして匂深く沸かゝり砂流抔の交りたる雄姿を見れば直ちに以て正宗以後の相州傳ならんと鑑定せしが何ぞ料らん鎌倉に於ける正宗以前の國宗及び助眞が作の短刀を見るに至り（余は助光の短刀を所持せり）其の擬正宗に似て正宗より凡て優しく品位も下らぬを認め終に自己の誤見を悟りたりしから正宗刀、及中の働きは千變萬化にして其の美しき砂流は清流の底を渡ふ如く或は砂金を撒布せるが如く又た飛燒、二重燒の燦爛たる其他湯走、金筋、稻妻等の妙技は言語に絕し彼の『笹の葉に淡雪の降りかゝりたるが如し』抔も唯だ一見局部の評論にして全體を盡し得たりと云ふべからず兎も角正宗は一世の傑出たりしは古人の稀れに敬慕する所なりとす

日報詩壇

春日村居　藤倉 藤陰
春風吹暖柳眉舒。坐看杏桃花發初。草舍不迎名利客。机邊唯伴聖賢書。
評曰、奔風走塵之徒、一讀爲如何之語。

自題寫照　成田 魯石
文字誰人今古同。蓬頭垢面日雕蟲。曾無涓滴報家國。半百依然舊阿蒙。
評曰、直叙胸臆、却見超然脫俗。

過舊友　大久保曉香
千里飄香過友人。槐花蹇馬對騏藤。白頭搔起紅氛髮。雨蝶風花三十春。
評曰、磊落抑鬱、借題而吐出。

西伯利に關する調査

朝鮮彙報 特別號 號外 西伯利號 金廿五錢 郵稅二錢
▲口繪 浦鹽斯德市◦ハバロフスク市◦西伯利の處女密林◦ペトロパヴロフスク市無線電信局◦西伯利氷原の大橇
▲地理 氣候、人口 位置地勢◦氣候◦面積◦人口
▲行政 革命前の行政組織及諸種の制度 行政組織◦衞生及警察制度裁判制度移民に關する制度產業制度◦革命後の行政組織
▲產業 後貝加爾州◦黑龍州◦沿海州◦東露加州 ▲財政及金融 概說◦財政◦金融
▲交通 後貝加爾州◦黑龍州◦沿海州◦薩哈連州◦東露加州 ▲貿易 後貝加爾州◦黑龍州◦沿海州◦薩哈連州及東露加州◦
▲關稅率の改正 ▲植民 概說◦東部西伯利に於ける哥薩克の移植◦後貝加爾州の植民◦黑龍沿海兩州の植民◦薩哈連及東露加州
▲軍備 ▲教育及宗教 教育◦宗教 ▲雜錄 西伯利に關する露支間の條約◦哥薩克駐屯の由來◦北滿洲及西伯利在住鮮人の狀態◦西伯利の田舍生活◦露國に於る獨逸商品販路の原因
▲度量衡換算割合◦貨幣換算割合

▲附錄 東部西伯利地圖

取扱 京城本町 ウツボヤ書籍店 電話二五二七番 振替京城武二武三

朝鮮彙報

五月號 大正七年 每月一回 定價二十五錢 郵稅二錢五厘
口繪 大邱郵便局、郡纖叺生產販賣組合狀況、大邱郵便局內部、迎日郡纖叺 日本軍地圖
能率增進の施設
調查及研究 ▲各開港沿岸貿易概況 ▲私立學校狀況 ▲大正六年棉作狀況 ▲綿肥作付反別及收穫高 ▲甘藷及馬鈴薯普及狀況並栽培成績 ▲晩馬の現況 ▲新炭價格騰貴に關する調査 ▲朝鮮人の記したる壬辰役の日記
日本海橫斷航路
地方事情 ▲咸北殖產興業の趨勢 ▲忠清道[illegible] ▲優良部落の狀況 ▲面の狀況 ▲西鮮造林會社
再び穀類害蟲驅除劑に就て 陸軍三等藥劑正 村田康太郎
立憲の精神 法學博士 七杉愼吉
西洋の來由と我立憲 帝大法科教授
雜錄 ▲大正七年度本府豫算 ▲朝鮮事業公債法中改正 ▲朝鮮銀行法中改正施行 ▲朝鮮國貨幣法の發布 ▲朝鮮人官吏の恩給に關する法律の發布 ▲官立學校新設 ▲三月中の鐵道運輸 ▲第八回記念植樹 ▲新政務總監歸任 ▲李王職[illegible] ▲各學校卒業式
統計 ▲個人間貸付金利表 ▲三月中朝鮮貿易 ▲二月中經濟概況 ▲鐵道運輸 ▲旅客出入 ▲關釜航路各貨輸送狀況 ▲法令及通牒 ▲判決例

販賣店 朝鮮內地各書店 ▲廣告料一頁金七圓

世間學

村上浪六先生著 縮刷

目に見、耳に聞き、憂いもつらいも戀も無常も喜も悲も總て世渡りの學科なり食ふや食はずの人達や榮耀榮華の人々は其落第生卒業生、智惠も及ばず力も足らず、いやでも應でも生涯を左右せらるゝ議論と理窟の外に獨立した奇拔な學問痛快な面白い教科書

郵珍總布箱入美本 價金九十錢 送料金六錢
東京日本橋すきや町 大阪屋號（電話本局三二三五二・二三）
京城本町二丁目 大阪屋號（振替二五七三）

時計及蓄音器卸商
本堂創立明治二十八年
京城黄金町二丁目 喜多金光堂
電話一〇一五・振替京城七八二

コークス販賣廣告
弊社製造ノ瓦斯「コークス」ハ爾今當課ニ於テ直接販賣可致候ニ付何卒御用命被仰付度此段廣告仕候也
大正七年五月八日
京城本町二丁目
京城電氣株式會社
營業課
（電話六〇〇八番）

御使用先
朝鮮駐劄軍司令部廳舍其他諸官衙
目下建設中の京城印刷所新築工場
金網入硝子・縞板硝子
磨板硝子・雲板硝子
結晶硝子・雪形硝子
朝鮮一手販賣店
協同組商業部
京城府南大門通五丁目
兵庫縣尼崎市
本社 極東硝子株式會社

易斷
高島易斷本部主事高島呑明先生出張
受付午前八時より十一時まで午後二時より十時
場所 京城本町一丁目清光舘內（電話一三二五）
神易協會
高島易斷本部

謹告
時下陽春之候各位益々御隆盛奉大賀候陳者拙者儀二十有餘年官界に奉職致居候處病氣故を以て退職仕り今般左記の個所に於て事務所開設致し建築設計監督の御高需に應可申候抑も朝鮮に於ける建築は寒暖双方の設に最も留意を要するは識者諸賢の御力說の如く拙者幸に十餘年間總督府に在職諸官衙舍學校等の設計監督に從事し密かに斯界に鑽する所不尠今や多年の研究と經驗とを以て迅速懇切正確を旨とし時世に適合する設計提供致し特に報酬の如きは殆んど實費に止め只管各位の御滿足に添ふ決心に御座候間倍舊の御眷顧を以て大小に不拘御用命の程伏而奉願仕候 敬白
大正七年五月十二日
建築 設計製圖 監督鑑定
各種謄寫圖、青寫眞
鐵筆印刷、和洋家具
指物建具製作販賣
附屬 和洋洗濯部
京城旭町一ノ一七二
相澤工務所
相澤啓 電話二四六
製作工場 西大門監獄作[illegible]
洗濯工場 京城府竹添[illegible]
追而家具指物建具並に和洋洗濯は特に價格を低廉仕御便利相謀り申可候

◎ベ伯陰謀電報飜譯

一箇年にして漸く完成す

前駐米獨逸大使ベルンスドルフ伯が米國の參戰前に米國に對し伯獨特の密偵及び陰謀計畫を行ひたる當時使用せる電報暗號は專門家が一年の日子を費して數千通の電報を參照研究せる結果其飜譯漸く完成せりと（紐育電報）

◎米工場落成と製造

米國スチールコーポレーションは目下政府の費用を以て建造中の工場落成次第直に多數の砲門軍需品を製造す可しと（紐育電報）

◎芬蘭に於ける獨逸の專恣

ヘルシングフオース來電＝獨逸は芬蘭にて石油、金屬、珈琲、煙草、皮革、織物、護謨を徵發し又保稅倉庫にある中立國の商品を差押へ又兵役義務を强制しつゝありと（倫敦電報）

◎葡國大統領決定す

總理シドニオパイス氏

葡萄牙國は四月二十八日大統領選擧を擧行せるに總理兼外務大臣シドニオパイス氏當選せる旨正式に發表されたり（マドリット電報）

◎首相難詰動議否決

モーリス少將の戰役訛謬指摘事件に關し首前相アスキス氏が下院にて是を調査す可しとの動議を提出せるが右は百六對二百九十三の多數にて否決されたり（倫敦電報）

◎陸總長辭表提出

外交總長陸徵祥氏は病氣と稱し辭表を提出したるが內實は外國側の壓迫に堪へ兼ねて目下進行中の某問題を外交部の手にて處理しつゝある爲なり（北京特電）

◎朱州禮陵爭奪戰

長沙八日發の報に據れば朱州（朱州は湖南省北部長沙府湘潭の東部にあり）は南北兩軍の爭奪中にあり湘潭の下流にも南軍の少部隊出沒し禮陵は北軍一度恢復せるも四日復之れを奪はれ互に約二萬の兵を以て爭ひ居れり尙ほ長沙には南軍間諜多く入込みつゝあり（漢口特電）

◎支那學生歸國と告諭

日支條約に就き上海の英字新聞が誤報を揭げたるに誤られ本邦在留約三千名の支那學生の中歸國せる者南方出身者四百餘名を算するに至りたるが文部省は十一日支那學生に接觸を有する十數個の官公私立學校に對し此際彼等の誤解無き樣說諭す可きを告諭せり（東京特電）

◎四氏學位授與

京都府臼井隆太、東京府田村活吉、滋賀縣鷹谷富士男の三氏は醫學博士に北海道坂岡末郎氏は工學博士に何れも十三日學位を授與さる可し（東京特電）

◎中村都督東上

朝鮮經由

中村關東都督は白須秘書官及び富山副官を隨へ十二日午前七時旅順發朝鮮經由東上すべし（大連特電）

◎大田理事青島行

大田鮮銀理事は日本銀行國庫局長川田啓三氏と共に十日神戶丸にて青島に向け出發せり（大連特電）

◎郵便所長會議

二十一日より元山にて郵便所長會議開催の豫定なり（元山特電）

◎美濃部總裁歸鮮

美濃部鮮銀總裁は十一日夜對馬丸にて著釜しホテルにて休憩の上同十一時半の列車にて北行せり（釜山特電）

◎議員團元山視察

入京中の議員團一行は十二日午前九時三十分南大門驛發列車にて元山に向ひ同地一泊視察の上十三日午後九時入京同九時四十分發列車にて退京滿洲に向ふ可し

◎清津商議請願

清津商業會議所は一昨年會議所令發布の際地方人に依りて其筋に設立方出願せしも當時は未だ商業殷盛地ならずとの理由の下に却下されしが其後清津港は滿會鐵道開通時局の影響等に依りて著しき發展を爲したるを以て今回之が請願に關し有志者間に協議を重ねる所あり今月末までには請願書類等も出來すべきを以て總督府へ提出するの運に至るべしと（清津）

◎關釜連絡船の滿鐵經營說は

單なる臆說＝誤まられた久保局長の談

滿鐵京城管理局某幹部語る

最近の某新聞に久保滿鐵京管局長談として鐵道院經營の關釜連絡船を滿鐵に移管する事となつた樣の記事並にこれに就て滿鐵が大に運動してゐるやうな記事が載つてゐるが右に付滿鐵京管局の最高幹部は語つて曰く

頃日久保局長が內地より歸鮮の途釜山で或人から連絡船の滿鐵經營論や改良論を聞かされ局長は御尤もな意見です位に應答して來たらしいが、後で某新聞に久保局長談として既に連絡船の滿鐵經營は

▲中央の同意を得たかの樣に載つてゐるので局長も聞き及び其甚だしきに實は驚いてゐる、予等も議論としては關釜連絡船を滿鐵で經營するのが至當であらうと思ふ、然し乍ら目下の所何等關釜連絡船を滿鐵の手に移さうと云ふやうな計畫もなければ左樣な交涉を鐵道院に致してゐる事も全くないのである、事實現今の如く船價暴騰し船腹不足せる際右の如き計畫は進捗しやうもないのである、唯斯樣の事は久保局長より鐵道院に交涉し總裁初め幹部の同意を得たなら近く實行する事となるであらう、乃ち釜山の棧橋には從來

▲鐵道院の派出所があつて院線に關する事務をとり又滿鐵の派出所も置かれ社線に關する事務を執つてゐるが、どうも混雜の際乘客に對し往々不便を感ぜしむるから鐵道院の派出所を撤退して頂いて滿鐵で鐵道院の代務をなし統一することにしようと言ふのである、釜山で局長の語が誤まり傳へられたとすればそれが元となつてゐるのではあるまいかと思はる、會社の鐵道院關係より言つても左樣な誤まつた說が滿鐵重役の談として傳へらるゝのは面白くない事だ

◎下關と朝鮮魚

橫斷航路の影響

昨今に於ける北鮮漁業は頗る活況を呈しつゝありて漁獲高も年々增加し大正六年の漁獲總額は六百萬圓に達し前年に比し二百萬圓の增加なるがコハ單に魚價騰貴の影響のみに非ずして漁獲量の增加を有する水產業も逐次發達して今に甚く事云ふ迄もなく下關に本據を有する水產業者が將に先年のトロール時代に匹敵すべき水產品の移入をなしつゝあるが果して此盛況が能く今後も持續するや否やは頗る疑問といはざるべからず何となれば彼日本海橫斷航路の影響として下關が受る打擊の內最も重大なるは水產業にして現に北陸地方より北鮮漁場に手を延ばす者少からず漁獲物は之を鹽干魚として市場に出すの方法なきに非ざれども鮮魚として供給する方最も利益なれば運搬時間の短縮を計る爲めには九州中國方面へ供給すべき鮮魚は別として京阪神名古屋東京方面への供給には元山敦賀線に依るを便利とすべく現在北鮮漁業の關係者間に於ては元山の貯氷庫新增加、運魚用特殊船の就航に庫設備、橫斷航路船の冷藏設備等畫策せられつゝあり下關に本據を有するの故を以て必ずしも永久的に下關を本據とせざるべからざる理由なきを以て敦賀陸揚後の魚類輸送設備さへ完成せば下關水產業者の一部は其方面へ去るか或ひは橫斷航路に依る同業者との競爭に堪へざるに至るべき事なきを保し難く心ある者は何れも此事につき憂慮しつゝありと下關某水產業者は語れり（下關）

◎浦鹽貿易恢復

最近浦鹽よりの情報によれば露支國境鐵道貨車解禁以來同港の貿易狀態は漸次恢復に向ひ露國航路は就航船減退せる爲め荷主側に船腹爭奪行はるゝに至り露國義勇艦隊シルビルスク號は運賃一噸方引上げ四十五留となせり現今の就航船は前記の外朝鮮郵船の平安丸、大阪商船の交通丸、鳳山丸四隻に過ぎざれば商船の如きは復航貨物一艘一千二百噸に達し往航貨物四百噸に比し三倍の數貨ありと

◎市街地稅及酒稅

大正六年度四月分京城仁川兩府に於ける第一期市街地稅及び朝鮮酒稅の納期內徵收狀況を聞くに市街地稅は調定濟額十萬零九十四圓六十二錢に對して八萬一千百二十一圓四十四錢の收入あり此徵收步合八分一厘の割合を示し酒稅は一萬二千五百七十五圓七十三錢に對し一萬二千五百七十五圓七十三錢全部の徵收ありたりと

◎元山最近漁況

元山地方の漁況漸く色めき來り各漁業者は目下頻りに準備に忙殺せられつゝある有樣となり香椎、林兼、齋藤（?）、雨水其他の各漁業者も本月中旬迄には全部網入れを了する見込なるが本年は一般の狀況より推斷して漁期例年より餘程早き見込なりと目下頻りに準備中にて現に數日前には虎島に鯛の初漁を見たり然れども本年は日本水產或は林兼組等有力なる漁業者に於て當地方へ廻航せしむべき母船を增加し自己の水揚品以外に一般の仕入にも極力手を延し出來る丈け多數に鮮魚又は鹽魚の內地移出を試むる計畫なりと云へば恐らく元山地方の水揚高は多少の減退を來し從つて相場昂騰を免かれざるべしと（元山）

大阪財界便り

▲時計輸出好況

我國に於ける時計製造事業はスプリング用鋼板の不足よりして製造意の如くならざるとは言へ輸出は好況を呈し居れり即ち昨年春、英國政府が當時計並に掛時計の輸入を月額十噸に制限するに至れる際我國製造品時計並に掛時計は一箇月二噸の輸入を認めらるゝに至れり每月十噸の英國輸入時計は事實上日米兩國の占有する所となり其比例は運賃關係よりして米國製品六分日本品四分の割なりしが這般突如日本製品に限り更に一箇月二噸の輸入增加を許可せらるゝに至りたる本邦製品の米國製品に比し價格の低廉なると、而かも製品は米國製品に比し毫も遜色なきが故に斯くは月額二噸の增加は僅少なれども輸入特許の增加せらるゝに至りたるを知るに足るべく一面に於て我國輸出時計の漸次聲價を擧げつゝあるを知るに足るべし

▲米國制限範圍

米國第二回禁輸中各當業者の出願に依り駐米石井大使が制限の範圍を米當局に問合せたる結果飲用茶は輸入茶取締法の標準に適せざる時は制限法を適用せらる又茶屑は藥品製造用のものは制限の內に含まれず又紙製模造パナマ帽子は制限輸入品目中紙及び紙製品の中に含まれ輸出減退を免れざるも麥稈眞田及麥稈製帽は第二回輸入制限品中に含まれざる旨外務當局より大阪商業會議所に入報ありたり

▲上海紡績買收

上海の鴻源紡績は英支合辦事業なるも經營難を持續し時局に入りて漸く配當を開始したる程にて投資英人も同紡績の不成績に厭氣を催し事業全部讓渡の意嚮あるを以て本邦の紡績業者中支那發展に著目するもの頗る其買收に運動したるが當市河崎助太郎氏は率先支那經營者と密約を遂げ既に買收に決し其金額は五百萬圓內外錘數三萬本內外なり河崎氏は之を買收したる上相當の利益を得て讓渡の意嚮にて自ら紡績を經營するに非ざるべしと

▲生保上半期優績

生命保險界は依然好況を持續し昨年稀有の大發展に比して更に一步を進めつゝあるが市中は昨年の成績良好に過ぎたる爲今年は稍減少の傾きなきに非ざるも地方農家は懷合昨年よりも優良なる爲本年は著しき增加を示し上半期の豫想前年に優るは要するに地方保險の增加が與かつて力あるものなるが下半期も果して上半期同樣の好成績を持續し得るかは稍疑問なるべしと

▲肥料會社の今期

今期に於ける肥料界は硫安、豆粕、硝石の昂騰今迄に顯著なりし爲め隨つて肥料會社の今期利益は增加せんとするの趨勢にあるが昨今識者間に於て觀測せられつゝある配當は左の如し

會社別	前期配當	今期配當豫想
大阪化學	三割	三割
同曬粉	三割	二割
アルカリ	一割三分	一割三分
堺硫酸	三割五分	二割
關東酸曹	四割三分	五割
大日本人造	一割四分	一割四分

曬粉の減配は硫酸の昂騰による利益ありしも曬粉の不況に基く所なしとせず堺硫酸の減配は鉛室の破損によるものにして關東酸曹の利益增加は工業藥品の好況に起由するものなりと（大阪）

◎持地長官動靜

八日來淸せる持地長官は總督一行中なる持地遞信局長、長谷川總督一行とは別個の用件にて來北したるものにて持地長官は同副事務官外書記一名は九日總督の北行を見送りたる後午前八時半淸津出發鏡城に赴きたるが鏡城より朱乙に赴き引返して會寧に向ひ十三日頃歸淸すべく十五日より三日間當地に開催さるべき咸北局長會議に臨席し後再び總督一行と會し歸京の豫定也と（淸津）

◎城津より

黑鉛鑛は續々發見採掘せられ而かも先年鉛價暴騰せし爲め一躍黑鉛成金となりたる者も尠からず隨つて一般に活況を呈し昨年中市內に於て家屋の增築せられたるもの五十有餘戶を算し本年に入りても既に十餘戶を建築し尙ほ續々建築の計畫を示せるが時しも更に咸鏡線の中央建設所を設くべく豫定せられたる滿鐵城津出張所は將に本月中旬を以て設置せらるべき噂傳はりし爲左なきだに活況を呈せる城津は近年になき景氣を添へて居たり

◎醫師試驗終了

五月一日より朝鮮總督府醫院內に於て施行中なりし朝鮮總督府醫師試驗の學說試驗は九日を以て全部終了を告げ十一日午後成績發表の上十三日より四日間臨床試驗を行ひ十八日午後成績發表の筈なり

●鐵道院配達區域改正

鐵道院にては本月十日より手小荷物及び速達便貨物配達區域を改正せる旨京城管理局に通知ありたり

◎朝新編輯長更任

朝鮮新聞編輯長新田靜湖氏今回同社東京支社詰に轉じ其後任として大塚良吉氏入社せり

◎相澤工務所の開設

多年總督府土木局營繕課に在職せし相澤啓治氏は今般退職旭町一丁目に工務所開設建築設計監督の依賴に應ずる由尙地方よりの依賴には特別の便利を計る可しと

人の消息

▲松田保氏（東京辯護士）十一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲西崎健治氏（東京銀行員）同上
▲吉原重長氏（東京市技師）同上
▲堀池當作氏（大邱辯護士）同不知火旅館へ

■巨星百種■

餘り世間には知れて居ないが前に日本鐵道に居たり岩倉鐵道學校長などをして居た榊原浩逸と云ふ人は刀劍鑑定にかけては實に天下一品の名がある▲代々が刀劍鑑定で有名であつたとの事であるが取り分け浩逸君は天才的の鑑定眼を持つてる相な▲曾て同君が仙臺に居た時分或る刀劍屋で名刀を探つて居た折柄▲火事だと聞いたゝましい半鐘の響ハテナと聞いて見ると君の家が燒けて居る最中▲驚いて飛んで歸るかと思ふと先生悠々ビクともせず一刀を手にして打ち返し〳〵見て居た▲火事騷なぞは全く何處を風が吹くかと云ふ有樣で居合せた人々も驚いた▲鑑定が濟むと其刀を求めて悠々と大急ぎで歸つて見ると家は最う燒けて居る▲流石にきまり惡氣に父君の前に出て大變なことでと云ひ〳〵ソツと刀を後ろに隱した▲父君は立腹の姿で早速夫れを見付けて『夫れは何だ』と無理やりに奪ひ取つて見て居たが▲ポンと膝を打つて破顏一笑『うゝ之さへあれば家なぞは全燒しても構はぬ』と大喜び▲其刀こそ何でも稀代の名刀であつた相な▲此父にして此子ありとは當時刀劍界での大評判であつたとのこと

◎獨逸講和陰謀

戰爭失敗糊塗

五月四日タイムスは左の如く[illegible]

に於て和局促進の陰謀をなすべしとは豫て一般の期待せる處なるが[illegible]

▲此陰謀は實現せられん[illegible]を示さんとするものゝ如き一方從來獨逸[illegible]として知られたる中立國人の如し者は聯合諸國にし其他の聯合與國に來著せるものへ[illegible]如し此等通し者の中には獨逸目下の內情に關し聯合側の執る可き方[illegible]うするは言を俟たず從つて聯合側政府が之に對し斷乎たる姿勢を示すべきこと[illegible]

戰局今後の發展は豫斷の限りに非ざるも今後或は二週間を出でずして獨逸は講和促進陰謀に全力を傾注し來るやも計り難く此際[illegible]英國を誘ふに足ると信ずべき提議をなすことならん而も獨逸政府が斯くして英國を平和商議に捲込み得ると思惟し居るや否や[illegible]は和局促進運動の[illegible]の煩悶を押へ國內一時の小康を維持せんとするにある也即ち獨逸其個の目的は息を次ぐの時を得んとするなり今秋の收穫獨期迄の難關を糊塗せんとするにあ[illegible]は現にウクライナに單得を布き農民より諸種の物資を掠奪し始めたり去り乍らウクライナの如き廣大なる地域に於て此種の計畫を立て之を實行するは至難の[illegible]係り何時迄も世界を相手として對峙し得べく從て西方戰場の成行の如き強て喫緊の問題とはならざる可しとの考にある事疑なし

京城府條例

府協議會ノ諮問ヲ經朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ府吏員定員條例中左ノ通改正ス

大正七年五月十二日 京城府尹 金谷充

京城府條例第五號

大正三年京城府條例第五號府吏員定員條例中左ノ通改正ス

第一條中『二十八人』ヲ『二十九人』ニ『四十八人』ヲ『二十八人』ニ改ム

附 則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

府協議會ノ諮問ヲ經朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ京城府旅費支給條例中左ノ通改正ス

大正七年五月十二日 京城府尹 金谷充

京城府條例第六號

大正五年京城府條例第二號京城府旅費支給條例第三號表中『三圓』ヲ『四圓』ニ『二圓五十錢』ヲ『三圓』ニ『二圓』ヲ『二圓五十錢』ニ改ム

附 則

本條例ハ大正七年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

法人登記公告

私立京城東洋協會專門學校ハ大正七年四月[illegible]日名稱ヲ私立東洋協會京城專門學校ト變更シタリ

株式會社漢城銀行ハ大正七年五月壹日支店ヲ釜山府池ノ町四番地ニ設置シタリ

株式會社朝鮮商業銀行ハ大正七年四月拾九日取締役趙鎭泰重任シタリ

右大正七年五月十日登記

京城地方法院

法人登記公告

長湍地方金融組合ハ大正七年四月[illegible]組合長[illegible]辭任シ[illegible]就任ス

右大正七年五月八日登記

京城地方法院水原支廳

法人登記公告

楊平地方金融組合登記事項中左ノ通變更ス

一 [illegible]

右大正七年五月[illegible]日登記

京城地方法院楊平出張所

朝鮮總督府

一 最水器其他[illegible]

右[illegible]五月十一日以後ノ[illegible]

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編

改定增補 第四版 朝鮮不動產商業登記申請書式 定價一圓 郵稅八錢

本書は不動產登記の部には土地調查に關聯せる不動產登記法に依る申請書[illegible]

商業登記の部[illegible]

發行所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 電話長三三六・一八 振替京城二六七三

取次所 京城本町 大阪屋

● 勸業債券 當社取扱本月當籤割增金廣告

金二千圓	第六八回一組六〇二八番	攝津御影町 [illegible]
金千圓	第四四回一組三〇三五番	紀伊西牟婁郡 [illegible]
金千圓	第五二回一組一七一一番	北海道上川郡 [illegible]
金百圓	第二七回二組一六一〇七番	肥前南松浦郡 [illegible]
金百圓	第六八回二組一〇〇四番	阿波勝浦郡 [illegible]
金百圓	第六八回一組八〇二〇番	但馬生野町 [illegible]
金百圓	第六八回二組一〇四一番	長崎市船町口 [illegible]
金百圓	第六八回二組六〇四番	朝鮮全羅北道 [illegible]
金百圓	第六八回一組五三二番	朝鮮全羅南道 [illegible]
金百圓	第六六回八組七六九七番	朝鮮京城太平町 [illegible]
金百圓	第五二回二組二四七五番	朝鮮京城 [illegible]

一 以下略ス

一 弊社ノ月賦販賣法ハ前記ノ如ク[illegible]

一 當業內容ハ[illegible]次第御送附ス

一 契約紹介員ヲ募集ス月收豫想金五十圓以上

東京日本橋小網町三丁目 國民興產株式會社

移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記へ移轉專ら重石水鉛の買鑛に從事仕候間多少に不拘御申込被下度候

京城永樂町二丁目六二（朝鮮農業株式會社跡）

ジョージ、アール、アーレン商會

電話二九三八

竹內ペントを知らずして金庫を語る勿れ

京城本町 熊平支店 電話長二四三 振替京城二二五

鑛區鑛石買入

亞鉛鑛、銀鉛鑛、銅鑛、鐵鑛

右の鑛種に對し鑛區買入（許可鑛區優先願ひ）

金鑛石、亞鉛鑛石、銀鉛鑛石、銅鑛石、重石

右の鑛石多少に不拘買入

水鉛鑛山用諸機械器具及鑛石販賣

京城府御成町七ノ二地 正已鑛業所 熊谷忠直 電話長三一二三番

[illegible]西部戰場に於て獨逸が決勝後得に食料の窮乏を喋々し以て獨逸が如[illegible]等と[illegible]の下に講和商議に應せしむる樣欣[illegible]失敗の曉彼は必ずや聯合側各國何にも平和に容々たるものあるや然斡旋すべき言遊說の爲最近英國

▲其目的と起因 訂正は恰も今春期の獨軍攻勢と[illegible]ロバート・セシル卿は昨二日在當地米國各通信員を引見したる際同問題に關し左の通り演說せり

[illegible]ウヰスキーの文書の爆露が本戰爭開始の責英國にあることを獨逸公衆に示し居たる結果等を利用し佛國に對しては彼が以て特に[illegible]ける豫定[illegible]失敗の一般國内に周知せらるゝ場合に於る民衆の失望を緩和し且獨逸希望通りの講和成立の近づけるやの望を與へ以て平和の遂に對する滿身[illegible]を確保し能はざりしことは獨逸並に墺國内に深刻なる失望を惹起したり而して向後二箇月間は其紛擾は將に甚だしきものあらんとす其失策を假はんが爲獨逸當時日内に何等かの方法に依り露國及びウクライナに對して十分管理制御の地盤を樹立し得たる曉には獨逸は右二國の富源に[illegible]セシル卿[illegible]國通信員に對すると大同小異の談話を公にしたり

中央停車場問題

▼歩廊（プラツトホーム）を各等に區分せよ

斯うすれば乘客にも便利出迎者にも非常な便利だ！

◇出來るなら救護所も

總督府醫院長醫學博士 芳賀榮次郎氏談（中）

英國の停車場は一例として申し上げたのであるが其他伯林でも紐育でも皆好く出來て居るね先づ倫敦、伯林、紐育と此三つが世界的の大停車場であらう私は繰返して言ふ緩ら朝鮮の中央驛でも之等大停車場の外觀設備を全部模倣することは到底不可能であるが其長所！言ひ換ふれば

◆其便利な點は大いに參酌し大いに採用して戴き度いと思ふのである尤も斯麼ことは設計者に於て百も御承知二百も合點爭ろ今更らしく言ふ丈野暮かも知れないが私の所見を振り顧つて氣付いた儘に唯希望として開陳する次第である去らば南大門驛を如何に設計すべきか——詰り如何に設計すれば便利本位の停車場を建設し得るかと云ふと私は其方面の專門家でないから無論

◆具體的の事は申上げられない、其處は全然專門家にお任せするより外仕方がないが僭越に言つた便利本位と云ふ點から枝葉の問題について一二具體的に希望を述べると先づ第一は待合室以外步廊も一二三等に區劃して頂き度いと云ふことである之は步廊を幾つも設ける譯ではなく一つの步廊を各等に區分するのである、そして列車の編成を一定し

◆一等の客車は一等の區域の步廊に著くやうにする現在のやうな步廊では何處に一等車があるやら二等車があるやら皆目見當が付かず同じ場所を往つたり來たりウロ／＼しなければならぬと云ふ不便があるが若し前述の如く步廊を區劃し列車の編成を一定する事になると一目瞭然として

◆自己の求むる客車の所在が判り乘客の爲めにも送迎者の爲めにも甚だ便利である第二は待合室に工夫を凝らし各待合室毎に改札口を設けるか或は單に改札口丈でも一二三等に區別して貰ひ度い之は何も階級を論じ有象無象と肩を並べるのが嫌だからと云ふ僻見からではなく斯うすれば入場に際して好く見受ける混雜を多少でも輕減することが出來ると思ふからである其他考へれば倚澤山あるであらうが是丈は經費の許す範圍で是非實行して貰ひ度い

◆衞生上の設備にも倚改善を要すべき點は多々あるが差し當つて必要だと思ふのは建物の一部に救護所のやうなものを特設することである御承知の通り停車場は公衆の集合する處であるから種々雜多な事故が起る急病人が出來る卒倒者がある或は汽車から墜つこちた汽車に轢かれたなどゝ云ふ怪我人も出る斯うした事故が

◆發生した場合之を一々市中の病院なり醫師の處へ舁ぎ込んで居ては手遅れになるやうなことがあるが若し其處に救護所でもあれば卽座に手當が出來て甚だ便利である之は人類の幸福と云ふ大きな意味の上から見ても必要なことであらうと思ふ

讀者の希望

▲南大門停車場地點に關し余は大正元年次の如き意見を有す（一）新設停車場の位置を現南大門驛と西大門驛との中間の適當なる地に新設し而して之れより京城市街との完全なる連絡を計り京城市の中心を南大門內側に移轉せしめ右新驛より南大門內側に向つて新道路を開設す可し（二）現在の南大門驛を貨車專門驛とす可し（三）南大門外の大通りは將來貨物の增加に伴ひ方面の繁雜たれば其繁榮を悲觀するにも及ばざるべし（四）現西大門驛は廢止す（別府にて風來坊）▲十日の本欄にて當業內係よりの返事に就き御不平ありお客側としては無理からぬ事なれども其狀を述べ御了解を乞はん列車の延著時間を正確に答ふる事は不可能とも云ふ可く即ち延著の原因は種々にて單線の事故反對列車の事故線路の故障器械の不良等一ならず例へば大田驛にて三十分遲れたりとするも其後更らに增延する事もあり恢復する事もあり實際の延著時間を豫想する事は出來難く大田で何分延着すると云ふ事に答ふる事とせるを以て其後の增延恢復は諒恕を願ふの外なし其邊御推察を乞ふ（南大門驛案內係）

◉卅七旅團幹部演習

鏡城地方にて

羅南步兵第三十七旅團幹部演習は四日より十日迄七日間鏡城郡明川郡地方に於て實施せるが演習參加員は統裁官大村旅團長以下將校十八名下士三名卒十八名其他七名總員四十七名なり

◇本社を參觀せる琿春視察團一行

◉堪り兼ねて涙をホロリ

琿春視察團の盲啞部參觀

『吾々は無學文盲だ』と愧ち入る者もある

同情を惹いた盲生の手紙

琿春視察團は十一日は濟生院盲啞部恩賜授産製絲場、東拓及び本社を參觀した、濟生院では盲生が點字で文章を綴つたり國語と朝鮮語で會話するのを見て盲目でさへ文字も書け國語にも通じるのに

▽我々は無學 文盲だ慚愧に堪へぬと言ふものもあつたが何れも不具者が常人の如く讀み書きするのを見ては思はずホロリとさせられた、殊に同院卒業生が新義州から『近頃は氣候がだん／＼暖くなりまして仕事をするのに宜しう御座います

▽諸先生樣は 何のお變りもありませんか、私は平素から丈夫で何時ものやうに勤めて居ります御安神下さいませ、私は先月の收入が十七圓五十錢ありました（原文の儘）』と點字で書いた端書が著いたのを早速見せると之には堪らなくなり

▽多情多恨の 黃團長は連れて居た、直ちに涙を押拭うて居た、などは殊に壯大と綺麗とに驚き續けて居た一行には盲啞部の參觀が最も徹底したらしい

▼寫眞班の早業に驚いて

魔法のやうだと囁き合ふ

——本社を訪問した視察團——

午後四時一行は本社訪問直ちに階上に招じて茶菓を饗し席上阿部社長より朝鮮に於ける京城日報及び毎日申報の使命を說き此れに對し元露國で新聞記者をした事のある氷觀韓馨撒氏立つて『我々は

▽五十年前 から豆滿江を超ゑて滿洲に移住したが其時は唯一人として國境に立つて遙かに故國を顧み轉た望鄕の悲哀を感じない者はなかつたその憐れむ可き朝鮮人は今や二十萬に達し琿春縣のみでも約三萬餘名の者が專ら農業を營み刻苦精勵して居るが帝國に在る人々は

▽我々の生活 に對して同情が無いのは遺憾に堪へない』と述べ更らに『朝鮮に於ける一大權威たる貴社は琿春方面にも其驥足を延ばして一は社運の發展に資し一は

▽暗愚の民を 指導啓發せられん事を望む』と結ぶ此時寫眞班員は一行が玄關に登らんとする處を撮影した寫眞を持來り回覽に供したるがこの間僅かに十二分其『早業』には何れも舌を卷いて魔法の樣だと囁やき合ふそれより

◇天勝の弟子斐痲子

∨——朝鮮で初舞臺に上る可憐な朝鮮少女

∨——[illegible]

[illegible]

[illegible]

◉學生の亂痴氣騷 佐賀

[illegible]商業學校にては生徒等多數汐干狩に[illegible]を乘船せしめ亂痴氣騷ぎを演せし爲め處分されたり（佐賀電話）

◉大阪の腦脊髓膜炎

大阪梅花女學校生徒里口ちか（一五）腦脊髓膜炎に罹るが是にて同病罹患者合計二百十二名となれり（大阪特電）

◉母娘で毒を盛る 京畿

道水原郡[illegible]面道川里李壽安（三八）の妻朴小一（二〇）は夫の家が赤貧なるより之れを嫌ひ他家に轉嫁せんと其旨を母の許氏（三七）に謀りしたるに許氏は壽安を毒殺せよと教唆したるより小一は四月二十日壽安の飯の中に苛性曹達を混入して毒殺せんと企てしも果さずとりしこと發覺し母娘は此の程水原署に逮捕されたり

◉古物商處罰

京城本町三丁目古物商增田石太郎（三二）は古[illegible]を購入せしも規定の帳簿に記載せず罰金二十圓に又北米倉町古物商安在義明（三五）も同樣にて罰金十圓に何れも本町署にて處罰さる

◉獨逸減食

一日分の分量

獨逸人一般の常食一日分の麵麭は半斤、肉十匁、脂肪二匁三分、馬鈴薯一斤と制限せられ居れり最も困難なる勞働者卽ち鑛山坑夫、地下工夫に對しては麵麭一斤を與へらる（チューリツヒ電報）

夏場所大相撲懸賞

東京大相撲夏場所は十二日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

（琴ケ浦（矢筈山（淸瀨川（錦島（黑瀨川

（御西山（福柳（大門岩（兩國（常の花

（三杉磯（大鳴門（千葉崎（朝潮（鳳

（源氏山（對馬洋（大錦（九州山（栃木山

▲〆切は五月十二日限り當日の取組に付き豫想を記入すべし▲はがきの表面には必ず京城太平町[illegible]▲最も多く的中したる者より順次投票を閉じ[illegible]

賞品 △一等一人[illegible] △二等二人[illegible] △三等三人[illegible] △四等[illegible] △五等三十人[illegible]

◆今十二日限り締切

◉五月場所

愈々開場

＝十二日初日

朝潮二日目より出場大錦全休か

大相撲は愈々十二日開場、常なるが初日取組の中、兩國に彌高山は休場の爲め『一湊に彌高山』と變更し新に『九州山に浦の濱』の取組を加へたり尙朝潮は初日休場二日目より出場の筈にて大錦は足痛と氣管支加答兒の爲め日本橋箱崎町山田病院に入院中なるが多分當場所は全部休場す可し

▼鳳組滿鮮巡業

[illegible]場所打揚後、鳳、千葉崎一行は滿鮮巡業として釜山に乘込む豫定なり（東京特電）

◉原總裁の遠廻

海上暴風に遭ひて

原政友會總裁以下一行は一昨日より高知に向ふ海上暴風雨に遭ひ和歌山に避難し居たるが路を更へて十日夜大阪を經て岡山に赴き十一日岡山より乘船高知へ向へり（大阪特電）

▼夕刊印刷中 であつたため例に依つて驚きの眼を睁り六時感謝の辭を殘して退出した

◉工夫五百名

辛うじて救助

坑內に突然出水

茨城縣多賀郡松原町炭坑會社の第二坑は十一日午前九時頃突然出水し入坑中の工夫五百餘名は辛うじて救助されたるが一時は非常の騷ぎなりしと（東京特電）

◉東京野菜下落

米價調節の効果漸く現はれ來れる矢先市內野菜相場も先月に比し約五割方下落せり（東京特電）

◉マラソン競爭結果

東洋協會專門學校にては既報の如く十一日午後一時よりマラソン競爭を舉行せるが選手は三十名にて大和町同校校庭より櫻井町、鍾路、京城日報社、南大門、本町を經て再び同校校庭に歸著する一里半の長程をユニホーム姿勇しく疾走したり競爭の結果左の如し

一	二五分二〇秒	中山
二	二六分五〇秒	松尾
三	二七分二〇秒	藤井
四	二七分四〇秒	佐川
五	二八分一〇秒	小

◉高女生徒の遠足 京城

高等女學校生徒は十一日一年生は東小門外の貞陵山へ、二年生は加九里へ、三年生は牛耳洞へ、四年生は午前五時半より徒歩にて仁川へ遠足を爲したり

◉化粧品商團體迎會

東京ムスク香水本舖松澤常吉商店主催にて編成の化粧品、御賓物商滿鮮視察團總員二十一名東京、大阪の知名同業者を網羅し豫定の如く二日東京發滿洲及び西鮮の視察を了へて日程通り來る十四日午前八時入京各所視察見學の豫定なるが就ては同日正午京城商議、朝鮮新社、荒井藥房、松井商店及び我京城日報社主催にて天眞樓に[illegible]午餐會を開くべく參加有志は會費金三圓を添へ古城贊化堂に申込まる可し

◉佐々木院主の有志招宴

[illegible]佐々木香遺氏五月十一日午後六時より[illegible]京城在住の主なる官民五十[illegible]の自祝宴を催したり

◉朝鮮ホテルの給仕募集

[illegible]自動車運轉手及び十五六歳の男女給仕[illegible]を募集する由なるが希望者は履歷[illegible]

◉朝鮮總督府

一、荷受板及足代丸太
右購買ス詳細ハ五月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

◉ビータ 著 京城本町 電話二十七 振替四七五 龜屋

語の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉 共著 [illegible]

京日案內

普通 一回前金 五十錢 番外 一圓前金

▲申込は前金にて▲[illegible]

貸家 花園町 巴酒造會社 三 官東向 初音町 電一〇六七番 82

貸家 京城南山町 [illegible] 電話二〇〇一 旭町一 佐藤 84

貸家 洋館 [illegible] 東向住宅 杉 大會社事務所 電話三〇八二番 [illegible]

看護婦 石護婦 南大門通 [illegible] 72

集金兼外交員採用 携帶年齡中本人來談保證人要 長谷川町七八 京城會 50

金融 月收の方に極秘信用貸 京城本町五丁目 御電報次第 大和屋質店 9

店員入用 十七八歳より廿五六歳まで 京城本町二丁目 Ⓗ平田商店 85

店員入用 十五六歳より二十歳まで 京城本町二 松菊屋小間物店 83

店員 十四五歳以上二十歳位迄四五名入用但し要保證人希望者は履歷書携帶至急來談あれ 日之出町角 大和春 土永與服店 81

恩給 年金 恩給ニ對テ低利貸 京城日之出町十 日之出學校裏門前 吉田屋 36

勸業 一般高價買入 市外は御一報返信す 京城太平通一ノ一三 電二七九三番 朝鮮 54

年金恩給 最長期低利立替 四年半迄保險不要 商品陳列館前 ▲京城永樂町 江州屋本店 45

◉朝鮮名産 朝鮮高麗人蔘 京城南大門通二丁目 人蔘專門 東洋人蔘商會 18

ラムネ販賣人募集 希望者は履歷書携帶保證人二名を要す 但市内に至急申込あれ 京城岡崎町八 京城清凉 70

最新 一九一七年式 フオード自動車 五人乘 金壹千九百圓 八人乘 金貳千貳百圓

▲新荷著 在庫品切の虞れ有之候間至急御用命御附被下度候 京城市竹添町一丁目 株式會社セールフレザー出張所

山岸 ネルヒン 一回分金[illegible] 奉天十間房 山岸政眞丸本舖 至る處の藥店にあり若しなき地方は直接本舖に御注文を乞ふ 山岸十全堂 電話五[illegible] 振替口座大連[illegible]

金澤藥學士 藥劑師 山岸勘吉創製 如何なる痛も五分間にて止む最新頭痛止藥

內科 呼吸器病 胃腸病 小兒科 婦人病 京城若草町大通り 今村醫院 電話一八三二番

和洋雜貨家具 京城本町一丁目 Ⓗ平田商店 電話六九五・三二八番 振替京城一〇八三番

近來諸物價甚だしく高騰仕候折柄此際一層努力を加へ價格低廉に品質精選み御需に應じ聊か年來の御眷顧に酬ゆるの覺悟に御座候間不相變御用命之程奉願上候 尙地方御注文は迅速荷造完全に發送可仕候 其他時候向和洋諸雜貨各種

專賣特許 蠅獲器（ハイトリツク） 新形四圓二拾錢 舊形四圓 元祖尾張時計株式會社製品

日鮮會話精通 朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 商業學校講師 西村眞太郎著 袖珍總クロース頗美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢

一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購せられよ。
一、殊に同氏の前著『朝鮮語會話』を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の內容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
ホ、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る

發行所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町二丁目 大阪屋號

花吹雪

大阪 中谷青霞

(二十八)

「只今町奴柳川香雨、若樣お見舞ひ旁々恐れ乍らお目通り願ふと申しまする。」

次の間際に手を支へたは十六七前髪の小姓、建部讃十郎は今方城中より退出つたばかり、肩衣をぬいで泉地の詰袖の熨斗目に梅芽きたる腋、脇息に凭りかゝり、黒漆の茶臺より錦袖の茶碗取上げ一口喫つた折から。

「むー苦しうない通れと云へ。」

「は。」

と答へて小姓は引退がる。

雄本建部讃十郎は聞ゆる癇癖の横紙破り、年は五十餘り半白の髮を後頭部に小さく束ねて、額に二三本刻んだやうな皺の眉を顰むる度に目立つて見ゆるも、何處やらに利かぬ氣を示して、眼光爛々と底を射る、見るから一癖ある氣の面魂である。

やがて小姓に導かれて、遙か末座に平伏したのは彼の柳川香雨。

「むー汝が聞及んだ町奴魁組の香雨とな、苦しうない近う寄れ。」

「殿樣御機嫌の體、香雨祝着申し上げまする。」

『おゝ身は老ひて益々頑強ぢやよ、一度汝にも逢うて何彼と聞きたう思うてゐた折から、幸のことぢや、ヅ、つと進みやれ、近う寄りやれ、遠慮は無沙汰ぢやわ。』

「は、さらば御免蒙るでござりまする。」

香雨は腰なる一刀を片隅に差置き數歩の間に膝行した。

『香雨とやら、さても天晴れ骨柄な、町奴には惜しい器量ぢや、いつも兵馬が後見同樣、厄介を見ゆると聞くが、折がなうて禮も云はぬ、讃十郎陰乍ら悦んでをつたぞよ。』

卿か苦い挨拶を用捨もなく頭から浴びせかけられて、香雨は少なからず憤氣た體、漸う少しく面を擡げて。

『恐入りまする、お恥しき所體、身不肖にして常にお供申す甲斐もござりませぬ、此度の兵馬樣お負傷何ともはや、申譯もござりませぬ仕儀、なれど只今伺ひますれば早御全快とも見受けまする、先づは何よりの祝着でござりまする。』

と云乍ら讃十郎の顏色をじつと見上げる。

『なに髙が地を引摺られた假擦傷、ぎれの打身に少々熱を浮かした程のこと負傷と申す程の事でもないが、只殘念なは門前へ意氣地もなう投げ込まれ、建部が家門に生恥掻せられた一事は、讃十郎何とも無念の至り一刻も早くと馬上を隅田に驅けさせたが間に合はざりし一期の不覺、今一時早く聞かばなゝ爰まで引摺がせては來さじものと、讃十郎今に口惜しう思ふわ。香雨お事もさは思やらぬか。』

老ひの痴言とも思はれぬ讃十郎が言葉、眼光も只ならず無念の體に香雨も道が同情の拳を握り。

『仰せ一々御尤でござりまする、數ならぬ某とて勝もちぎるゝ無念、口惜しさは骨髓に徹してござりまする、それ故にこそ今日お目見得願ひましたも、何彼の策略もおはさうかと存じてのこと……。』

『むー、それご香雨とやら例へ兵馬その場で切り死致さうとも、お事何故見續いでは呉れざりか、讃十郎聊か恨みに存ずるが何うあらう、生きた死骸の踊らうより、例へ死すとも武道の意氣地に生きて亡骸の踊るを讃十郎は嬉しう思ふのぢやが……。』

烱々たる眼光にハタと睨まれて香雨又も甚だ恐縮した。

日報歌壇

□青 柳 豐果

慣れてけふ散終ふるよさこいろうすこゑけるは悲しかりけり

青磁の瓶かにゝ葬なふくあたり古き愛の家たちならぶ

このごろは海に出でゝ疲しつくす春の潮は皆ちたらひつゝ

□ さつき

しとしとゝ雨なる宵の靜けさにはるかなる君なしのびかれつも

□夏草 有馬夏畦

鮮人の墓の土饅頭の上にも小さき菫の數多咲き居り

故郷の野のみ墓のほとりにて夏草の花は咲るらむ

□生の力 三郎

一瞬のいのちさびしみ夜ふかく物おもひ居ればふるさこゆ

いきものに與へられにしこのなやみ夜の床にして音がなやむも

眼なつぶり己が身ぬちの荒さはぐ血潮の音をきゝてかなしも

若ければ生の力のみもしてかくまでに音がなやむものかも

▲初夏の歌を募る

日報俳壇

柳雨選

蟻 ─五の月十の日會─

けふのすべてを悔い夜の蟻來る 披柳

蟻のつくだもの一夜を過ぎ 芹郎

蟻をみてそしらぬ机の上のもこと 浮碧樓

蔗褒が來なければ羽蟻が群れ 阿岐良

蟻長うなつき來て我に寄る子 烏堂

石楠花

伯母憂鬱症が重ゝ日々の石楠花 錬星冠

死ぬる伯母ならば硝子戸の朧

雨の日の籠の雲雀に親しまず

土の温み黄な麥田ゝ花の種 要村

硝子戸は雨に曇りて暖き

風光る丘沿ひ桑の穗並哉

連翹に今日も來鳴ける小鳥哉

ありたけの陽が輝る背や暖き

泥塗れ紙を乾す日曜の晴れ

蒲公英の花ほ飛ぶ校舍哉

今朝見たる土蜂跡や日の永き

葬旗吹く晩風に飛ぶ燕哉

地搗する唄麗らなる臺塲哉

夕陽吸ひて土塀に影す緋桃哉

細打の唄に暮るゝや藁の家

眼泌る塔の夕日に落花哉

零れ針光る除寒の灯し哉

嘩や旭に雜然と物の影 楚川

水門に汐脹れ來て風光る

畑打や燈臺山に映ゆる海

雲雀落ちて暮忙しき野家哉

線路工夫の踏る高話や夕雲雀

畝正しく鋤かれる畑や落る雪

机座替て見ゆる寺領の緋桃哉 紫影

行く春の淋しさ噂く小鳥哉

絲の如き小雨も春の名殘哉

行春を狂ほしき籠の雲雀哉

寄宿舍の同じ小窓や灯朧 みつる

オーガンに動く連翹の朝日哉

路に熾る實の殼や月朧

踏青の我足袋淡く汚れけり 蒼窓

一夕陽の一村浸す霞哉

一溯の霞に飽きし霞かな

漁を漁る家鴨の聲や春霞 松月

夕べ灯す船の灯赤き霞哉

宴果てゝ輕き疲れや春の宵 かつ

■『京日俳壇句集』に就き「柳川」「樋口」兩氏に答ふ、詳細は本月四日の本欄末尾に掲載あり、之れに依り承知ありたし（芳雨）

讀者の領分

▲私の近所に[illegible]年頃四十一二の温厚な人品の好い方が居なさる、三年前奥樣が死亡して以來獨身で居なさるお仕事は高尚で收入一個月[illegible]お子さんも御兩親もなく天にも地にも只一人の方で[illegible]一杯あると宅の主人が見て來て申しますので分ります何處か年頃三十一二から六七までゝ適當な奥樣があればお世話したいと存じます御氣付の方は御知せ下さい（[illegible]村岡雜貨店内貞女）▲市内[illegible]

[illegible]

牛乳 朝鮮總督府 陸軍 病院 ホテル 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

最新うどん そうめん そば 製麵機械 特許 博覽會共進會名譽金銀牌各種受領 說明書御望みの方郵券二錢要す 陳列場には各種麵機多數陳列せり 家庭用麵機は規模小にして價低廉 東京市淺草區東仲町二十番地 元祖 眞崎麵機店 電話下谷一五二〇九 振替東京一三三五一七五三一

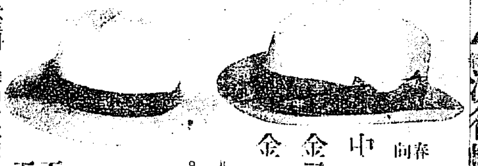
腦病良藥 岡田醫學博士證明 のぼせ引下げの良劑 レーベン 五十錢 八十五錢 一圓六十錢 三圓也 本舗 東京 中南定太郎 各藥店ニアリ

總監部御認可、衛生無害 蠅取散 郵送料七錢 室内の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして死す 戸外に出づるは請合なり其他アラユル害虫に有効 金一錢 引請元 京城南米倉町交番前 島田藥房 ▲各地藥店雜貨店に販賣す ▲特約店及行商希望の方照會乞ふ

▲流行燈袴▼ ▲特價金拾圓也▼ 送料當市内十二錢外三十錢 ◉純毛にして新流行縞物四種 ◉世間ありふれたる内地製品にあらず 純英國製にして「シワノヨラヌ」事 有非常の好評殘部僅少と相成候間 至急御注文願上候 京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話長一八〇〇九番 振替貯金口座京城三〇番

星印ソース 今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御要用になる 本品は其品質に於てソース界の明星なり 全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す 發賣元 大阪市 祭原伊太郎

最新刊
書名 著者 定價 送料
◉勞働經濟講話 東方經濟學會 定價一、八〇
戰後の事業 東方經濟學會 二、五〇
普通動物圖說 内田貞小野久七 一、八〇
人糞代用肥料自家製造法 矢崎秀八 九五
心身強壯代表的強健法 白井 一、二〇
家庭教育子供のしつけ方 前田 八五
交際秘訣日々の作法 松崎双葉 九五
川柳 德誠 六 一、五〇
縮刷世間學 九〇
算術自由自在 定價二、三五
圖解の戲術 小中亭 一、二〇
科學話謎の自然界 人如居山 一、五〇
殘雪 田山花袋 一、五〇
現代新俳句 松崎伸用 九五
小說入門 德田秋聲 九五
論文作法 生田長江 五〇
描寫の心得 小川未明 六〇
英文典新釋 定價一、九〇
詳細例解 縮刷 小栗風葉 六五
東京小石川(?)原町 大阪屋號 京城本町六丁目 振替京城二五七三



▲最新流行帽子▼ 春向 ソフト 中折帽子 金二圓より 金六圓迄 パナマ帽子 一圓廿錢より 五圓八十五錢迄
▲送料 鮮内十二錢外三十錢 ▲鳥打帽其他最新形澤山取揃へ居り候 ◉御注文の際は柄合(縞とか無地なとか)色合御指定の上御頭囲の寸法御申越被下候はゞ必ず適當の品見計ひ御送付可申上候 京城太平通 京城日報代理部 電話構内十八番 振替京城三〇〇番

京城龍山等各地に僞物有御注意 詳細は昨日の本紙を御覧

りん病ばい毒 患者諸君 ロにセドラッグあり御注意 近來東京其他各地に同一ドラッグの名稱を用ひ當商會と關係あるが如く裝へる者あり紛はしき者は當商會の商號を盜用する詐欺漢なり 總發賣元 京城南大門外 ドラッグ商會 本部 電話二五六七番 振替京城四六七番 大阪ドラッグ商會 京城黄金町 龍山漢江通

○蛇の目印ポートワイン

鯉よ幟よ 兩親の健康が生んだ英雄の卵……坊やに 蛇の目印の効驗が顯れた
天然甘味純良 無比の葡萄酒
一杯毎に血と元氣を增す
かゝる人は直に召上れ 虛弱貧血の人 食慾不進の人 營養不良の人 病後衰弱の人 產前產後の人
全國到處の和洋酒食料品店藥店に販賣せり
發賣元 洋酒食料品罐詰商 大阪高麗橋 松下善四郎

新荷著 スイス製 懷中時計

懷中時計(▲印はラジューム入) ニッケル側 アンクル機械 [illegible]
腕卷時計(▲印はラジューム付) [illegible]
機械優良 美術的 [illegible]
他店にて今回[illegible]の商品に比して[illegible]
イングレッシー商會 洋酒各國貨直輸入商 機械、時計、蓄音器、ミシン、自轉車 本店京城本町二丁目 電話九七二番

模範牛乳 宮内省御用 李王職御用 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二一番

ニッソ 石鹼 洗粉 太正堂 肥塚

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
◎神戸、大阪行 油頭丸 五月 日 後五時出
△日清丸 五月十三日 後五時出
△日清丸 五月卅一日 後五時出
◎群山、神戸、大阪行 南部丸 月 日 後五時出
元山出帆
◎西湖津、新浦、城津、清津行 安平丸 五月十七日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 五月廿三日 後九時出
大連出帆
◎上海、基隆、打狗行 湖北丸 五月十二日 前六時出 基隆丸 五月十九日 後四時出
内地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 南米行 一年四回 濠洲行 毎月一回 北米行 毎月二回 孟買行 毎月二回 南洋行 毎月一回
御注意 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇番 二五〇番 京城切符發賣所 電話七〇八番
[illegible]

釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 第三翠平丸 四月 日後六時出
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三翠平丸 四月 日後六時出
天草丸 毎月二日九日十四日 廿一日廿六日（十四）午後十一時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 立神丸 月 日後五時出
和歌浦丸 月 日後五時出
○元山、清津、浦潮行 立神丸 月 日後四時出 和歌浦丸 月 日後十時出
本船取扱店 釜山港埋立新町 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
○敦賀行 平壤丸 五月二十日 清津發 元山經由
○浦汐行 大阪商船門司、釜山元山、城津 平安丸 五月十四日 五月十六日
○雄基行 摩耶山丸 五月廿五日 五月廿八日 五月二十日 五月廿四日
忠清丸
○元山雄基線 鏡城丸 五月十六日
○大阪行 山陽丸 五月十七日 五月十九日
○關門行 京畿丸 五月十六日 五月十九日 五月廿二日 五月廿六日
成鏡丸
○金剛山遊覽便 行月六回
○鬱陵島行 烈德丸 五月十五日
○釜山浦項線 江陵丸、襄陽丸 毎日
○濟州島行 昌平丸 五月十七日
○濟州島行 木浦發
東廻 公州丸 西廻 慶興丸
○釜山麗水線 海州丸、巨濟丸、統營丸 毎日
○木浦麗水線 順天丸 五月十四日
○多島海行 公州丸 五月十四日
○木浦行 寶慶丸 五月十四日
○海州行 江華丸、成歡丸 毎日一回
○鎮南浦行 全州丸 五月十六日
○青島行 江原丸 五月十八日
○鎮南浦大連直行線 宗信丸 五月十五日
本社 京城南大門通 電話一二九五 一二三三
釜山港佐藤町 元山港海岸通 仁川港代理店 木浦港代理店 京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松店 京運送
（其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ）

尼崎汽船 仁川出帆
神代丸 五月十五日 後四時
秀吉丸 五月 日 後四時
君代丸 五月廿三日 後四時
大有丸 五月二十日 後四時
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕

日本郵船 仁川出帆
○大連行 天津行 相模丸 五月二十日 三河丸 六月九日 高砂丸 六月三十日
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕

共同汽船 仁川出帆
青島直行 共同丸 五月 日 午後 五月 日 午前
仁川代理店 本町四丁目 野口商 電話一七三
元山代理店 田口回漕
京城代理店 河村運送店

大型傭船昂騰

[illegible]らんと期待し出荷を見合せし爲め、[illegible]至りたる結果片航傭船料四退は瓜哇より米國行傭船の缺乏を[illegible]可きは當然の推測なるに拘ら[illegible]十五圓と云ふが如き頗る要船相當[illegible]は四十二圓にて契約せられ又[illegible]契約一箇年、希望者は以東航路[illegible]大型船が益々昂騰の趨勢に在る[illegible]入り千五百噸級の小型船は當川增[illegible]の傾向を呈し從つて幾分近海運[illegible]觀測せられ居れり

◆天氣豫報追報 小雨後くもり